総務委員会資料

- 2 所管事務の調査(報告)
- (5) 「川崎市総合計画」第3期実施計画・令和4年度事務 事業評価結果について(臨海部国際戦略本部に関する 部分)
- 資料1 「川崎市総合計画」第3期実施計画・令和4年 度事務事業評価結果について(臨海部国際戦略 本部)
- 資料2 令和4年度の事務事業の評価結果一覧(臨海部 国際戦略本部)
- 参考資料 令和4年度事務事業評価シート(臨海部国際戦略本部)

臨海部国際戦略本部 令和5年8月25日

「川崎市総合計画」第3期実施計画・ 令和4年度事務事業評価結果について(臨海部国際戦略本部)

1 趣旨

「川崎市総合計画」第3期実施計画における、臨海部国際戦略本部の令和4年度の事務事業評価結果を取りまとめました。

2 「川崎市総合計画」第3期実施計画・令和4年度事務事業評価結果(概要)

「川崎市総合計画」第3期実施計画に基づく施策に位置付けられた事務事業のうち、臨海部国際戦略本部が所管する事務事業は8事業あり、そのうち目標を上回ったものは1事業、目標をほぼ達成したものは7事業ありました。 $(\overline{\textbf{*}}1)$ 。

表 1 施策に位置付けられた事務事業の達成状況区分別 事業数と構成比(臨海部国際戦略本部)

達	I成状況区分	内容	事業数	構成比(%)
1	目標を大きく上回って達成	・目標に明記した期日よりも相当早く達成し、そのことにより コスト面や市民サービスに大きく貢献した。 ・目標に明記した内容よりも相当高い水準であった。 ・目標に明記した数値を大きく上回った。	0	0.0%
2	目標を上回って達成	・目標に明記した期日よりも早めに達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに貢献した。・目標に明記した期日どおり達成し、明記した内容よりも高い水準であった。・目標に明記した数値を上回った。	1	12.5%
3	目標をほぼ達成	・目標に明記した期日、内容どおりに達成した。 ・途中で多少の遅れはあったものの、最終期限には間に合う形で、 目標に明記した内容どおりに達成した。 ・目標に明記した数値とほぼ同じであった。 ・おおむね適正に処理し業務遂行に支障がなかった。	7	87.5%
4	目標を下回った	・目標に明記した内容は達成したが、期日が遅れた。・目標に明記した期日どおりであったが、明記した内容に満たない水準であった。・目標に明記した数値を下回った。・所定の期日に間に合わないなど、業務を適正に処理できなかった。	0	0.0%
5	目標を大きく下回った	・目標に明記した期日よりも遅れ、明記した内容に満たない水準であった。・目標に明記した数値を大きく下回った。	0	0.0%
		合計	8	100.0%

令和4年度の事務事業の評価結果一覧(臨海部国際戦略本部)

番	事務事業		サービス	事務事業の概要		事	製費 円)	事業の	参考资料
号	コード	事務事業名	分類	(簡潔に記載)	主な取組の実績 	予算額	決算額 (見込)	達成度	掲載頁
1	40203020	ナノ医療イノベーション推進事業	その他	ナノ医療イノベーションセンター (iCONM) の運営及び研究活動を支援 し、キングスカイフロントの中核施設と して最先端医療関連の産業振興に貢献するとともに、市民の生活の質の向	●研究成果の早期実用化に向けた支援の実	304,726	304,726	3	P6
2	40204020	水素戦略・カーポン ニュートラル産業推進 事業	その他	水素社会の実現に向けた取組を発展 させるとともに、脱炭素化の潮流が加 速する中においても、川崎臨海部の 産業競争力を強化していくための取 組を進めます。	●コンビナートのカーボンニュートラル化に向けたプロジェクトを推進(プロジェクト累計件数実績:13件、目標12件) ●プロジェクト創出・推進に係る企業等との意見交換の実施(関係機関等との打合せ・ヒアリング実施回数実績:310回、目標:200回) ●シンボジウム等における情報発信等の実施(シンボジウム等における情報発信の数実績:21回、目標:8回) ●「水素等の次世代エネルギーの利活用拡大に向けた連携協定」を横浜市と締結	32,703	20,820	2	P8
3	40401010	国際戦略拠点活性化 推進事業	その他	世界トップクラスの研究者たちが集まり、活発な交流から川崎発の革新的なイノベーションが次々に生まれるエコシステムを構築することで、ライフサイエンス分野における世界最高水準の研究開発拠点を形成します。	●多摩川スカイブリッジの開通を踏まえ、大田区と連携し、オープンイノベーションやスタートアップ等をテーマにしたイベントを実施 ●産学・産産連携など拠点活動の活性化を通じた地域産業への波及を促進するため、域内外の企業等のマッチングを新たに25件実施(累計実績:117件、目標:85件) ●関係する民間事業者と連携してベンチャー企業を含む研究機関等を誘致 ●川崎市産業振興財団にてシェアラボ及びシェアオフィスを開設し、高度な技術を持つ研究者・企業の集積を推進(インキュベーション施設への累計入居企業数:18社、目標14社) ●良好な景観形成等を図るために電線類地中化等の整備を推進	498,363	261,998	3	P11
4	40401015	戦略拠点形成推進事 業	その他	南渡田地区において、臨海部既存産業との親和性やカーボンニュートラル等の社会動向を見据えた最先端の機能及び高度人材等の集積を進め、持続可能かつこれからの川崎臨海部を牽引する新産業拠点を形成します。	●「南渡田地区拠点整備基本計画」を策定(令和4年8月) ●企業、アカデミア等に対し、新産業拠点として相応しい産業集積や機能導入等に向けたヒアリング等(実績85件、目標60件)を実施 ●先行地区である北地区北側について、地権者が市と協議した上で事業者を決定し、研究開発を中心とした土地利用の推進について3者で合意 ●戦略的な産業集積の推進に向け、検討の中枢となる主体で協議会(幹事会)を組成することと、組織立ち上げの準備を完了	40,659	31,570	3	P14
5	40401017	臨海部大規模土地利 用推進事業	その他		●早期の土地利用転換に向けた企業、関係機関、学識経験者等へのヒアリングを実施(実績: 90件、目標:70件) ●グリーンイグベーション基金を活用した取組など国の動向を踏まえる必要があったことから、当初計画(令和4年度土地利用方針策定)からスケジュールを見直し、土地利用方針の骨格となる方向性等を取りまとめた「土地利用に係る基本的な考え方」を策定 ●本市と関係省庁等が一体となった「臨海部大規模土地利用調整会議」を設置し、土地利用や基盤整備に関する必要な措置の検討・調整を推進	,	62,114	3	P16
6	40401020	サポートエリア整備推進事業	その他	臨海部の機能強化に向けて、交通環境や地域環境の向上に寄与するサポートエリアの整備を推進します。	●大師橋駅駅前交通広場の令和6年度完成・ 供用開始に向けた整備工事着手時期の協議・ 調整を実施 ●塩浜3丁目周辺地区におけるPark-PFI事業 者との調整及び路上駐停車抑制対策に関する 社会実験による調査の実施、基幹的道路の整備に向けた占用企業者との工事調整等の実施 ●坪島1期地区の本格的土地利用に向けた今 後の検討の方向性を確認	172,609	137,660	3	P18
7	40401040	臨海部交通ネットワー ク形成推進事業	その他	臨海部の持続的な発展を支え価値を 向上させる交通機能の強化をめざし、 交通拠点及び基幹的交通軸の整備と ともに、交通結節機能の強化と端末 交通の充実を図り、臨海部への円滑 な移動を実現する新たな交通ネット ワークの形成に向けた取組を推進し ます。	●臨海部における大規模土地利用転換を踏まえ、臨海部全体の交通ネットワークのあり方を 臨海部ビジョンの改定(案)に位置づけ ●交通事業者や関係機関と協議調整を行い、 臨海部中央軸(川崎駅〜水江町)にBRTを導入 (令和5年3月) ●多摩川スカイブリッジの開通約半年後に行っ た交通量調査に基づき、事後評価を実施	140,415	46,376	3	P20
8	40401060	臨海部活性化推進事 業	参加・協 働の場	「臨海部ビジョン」に示す「目指す将来像」の実現に向け、臨海部全体の活性化を図る戦略的マネジメントを推進します。また、臨海部の持続的な発展に向け、企業から活動拠点として選ばれ続け、市民から誇りに思われるエリアとなるよう、新たなイメージの確立に向けた戦略的なブランディングを推進します。	●新たな研究開発拠点の形成を促進する立地 誘導制度の策定など、「臨海部ビジョン」に基づ 〈取組を推進 ●川崎臨海部活性化推進協議会を開催(実 績:2回、目標2回) ●学校等を対象とした企業見学会(実績:9回、 目標:5回)及び高校生が企業や研究者と連携・ 交流する事業を実施	26,278	23,475	3	P22

主な事務事業の評価結果一覧の見方

令和4年度の主な事務事業の評価結果一覧は、各局が所管する事務事業のうち、「政策体系別計画に記載のある事務事業」及び「施策を推進する経常的な事務事業の中でも特に重要なものや進捗に遅れのあるもの」を取りまとめ、個別に進捗状況をお示ししたものです。

一覧の見方は次のとおりです。

令和4年度の主な事務事業の評価結果一覧(総務企画局)

番号	事務事業	事務事業名	サービス 分類	事務事業の概要 (簡潔に記載)	主な取組の実績	事 (千 予算額	円)	事業の 達成度	参考资料 掲載頁	①「政策体系別計画に記載
1	10101070	本庁舎等建營事業	その他	本庁舎等について災害対策活動の 中枢拠点としての耐震性能を確保す るため、建替えの取組を進めます。	●新本庁舎担高層棟新築工事及び復元棟新 築工事の推進 完成予定だったところ、出来 高ベースで92.9%の進捗。新型コロナウイル ス感染拡大の影響により、新本庁舎の完成時 期を令和5年度に延期) ●第2庁舎解体・跡地広場整備の設計完了、 工事の契約手続着手	34,141,026		4	₽●●	」のある事務事業」及び「施策 を推進する経常的な事務事 業の中でも特に重要なものや 進捗に遅れのあるもの」を掲 載
2	40205010	地域情報化推進事業	その他	本民生活の更かる利価性の向上か 地域経済の活性化を図るため、かわ さきW-Fiの運用を行うとともに、地域 情報の効果的な発信を図ります。公 共データを市民サービスやビジネス につなげるため、オープンデータの 公開を進め、その効果的な利活用を 推進します。	●かかきWi-Fiの各区のいこいの家、市民館分館、図書館等への導入、及び各区役所等へのアクセスポイントの増設 ●1イペントアフリ」のサービス提供、民間事業者等登録数:目標330団体、実績354団体) ●川崎市LINE公式アカウントをかわきアプリを活用した情報発信(市LINE公式アカウント友だち登録者数:目標40,000人、実績43,437人) ●更なるオーブンデータの公開(公開データセット数:目標350件、実績378件)(公開データの月平均ダウンロード数:目標6,250件、実績48,27件)、実	20,567	32,820	3	P●●	②市民サービス等の分類を 記載 ※分類区分 ○施設の管理・運営 ○補助・助成金 ○イベント等 ○表彰・顕彰・認定 ○参加・協働の場
3	40205020	行政情報化推進事 業	その他		●ソークスタイル変車に同けたエレソークハ ソコンの追加導入(導入数:1,310台) ●新本庁舎における柔軟な働き方の実現に 向けた無線LAN環境の整備 ●NPO法人と連携したスマホ教室等の実施	209,810	153,732	3	₽●●	○公聴及び相談・苦情申し立 ての聴取等 ○許認可等 ○出版物等 ○その他 - ③事務事業の概要を記載
4	40205030	デジタル化推進事業	その他	スマートフォンなどから24時間申請 が可能な電子申請システムの構築・ 運用や、市民ニーズが高い施設・窓 口等でのキャッシュレス決済の導入 を推進するなど、デジタル技術を活 かして利便性の高い行政サービスを 提供します。	(実施回数: 28回) ●旧電子申請システムの安定的な運用及び 新電子申請システム「オンライン手続かわさ さ(e-KAWASAKI)」の一部 講徳開始(電子申請システムの利用件数: 「標400,000件、実 様450,379件) ●「オンライン手続か」とき(e-KAWASAKI)」 等を活用した行政手続の原則オンライン化 (電子申請可能な手続の水のサイン化率: 目 標100%、実績100%) ●キャッシュレス決済可能な窓口等の拡大に よる利便性の向した設定。窓口数: 目標51、 実続51、決済比率: 日標10%、実績10.5%)	209,115	154,753	3	₽●●	④令和4年度に実施した主な 取組の実績を定量的な数字 を含めて記載
5	40901005	市制100周年記念事業	参加・協 働の場	本市が、令和6(2024)年に市制施 行100周年を迎えることから、本市の さまざまな魅力、ポテンシャルを市内 外にアピールする機会と捉え、各種 事業や情報発信等を展開します。	●オール川崎市の推進体制である実行委員 会の設立、運営(参画団体数:目標300に対し 実績311)	24,772	27,238	3	P●●	⑤令和4年度の予算額及び 決算額(見込)を記載
6	40901010	シティブロモーション 推進事業	その他	戦略的な情報発信等により、市民の シピックブライドの醸成及び対外的 な都市イメージの向上を図ります。	「シティプロモーション戦略ブラン」に基づく下 記の各取組推進の結果、シビックプライド報 振「愛着」は目標66に対し結果4.9と、いずれも目標を下 回った。 ●PR事業者の活用、メディアミックスによる魅力発信 ● Twitterや動画等を活用した情報発信 ● 民間企業等との連携によるプロモーション の推進 ●インフルエンサーと連携した「かわさきスペ シャルサポーター」による若年層を対象にした情報発信 ● 川崎市プランドメッセージのGIGA端末教材 の制作へ公開		26,808	4	₽●●	⑥事務事業の達成度を記載 ※達成状況区分 1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. 目標をほぼ達成 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った
7	40901020	国際交流推進事業	イベント 等	海外からの視察受入れや(公財)国際交流協会との連携により、行政だけでなく市民による国際交流を推進します。	●ウーロンゴン市との交流について、川崎 ジュニア文化賞実行委員会と連携し、大賞受 賞者と、ウーロンゴン市長及びウーロンゴン 市の児童とのオンライン交流会を実施 ●富川市長をはじめとした訪問団の川崎市長 らへの表敬訪問の受入 ●サルップルウ市及びリューペック市との友 好都市提携30周年を記念し、市内で周年記 念コンサートや宮前図書館と連携した企画 展の投デロンサートと連携した電景 場市とザルップルク市の小学生の合唱及び メッセージの動画交換等を実施	37,774	24,269	3	₽●●	⑦参考資料における当該事務事業の評価シートの掲載ページを記載

令和4年度 事務事業評価シート (臨海部国際戦略本部)

事業の		~												
	事務	車拳	事務事業:	コード				事務事業名				政策体	系別計画の記録	
	** *****	学术	402030	20 -	ナノ医療イ	ノベーショ	ン推進事業	Ė					有	
	40	1/2	組織コー	- ド					所属名			•		
	担	当	59270	0 1	臨海部国際戦略本部成長戦略推進 ;									
			事業開始	年度 事	業終了年度	事務・	サービス等	车 分類	1(市民サ-	-ビス等)	分勢	頃2(内部事	(務)	
	実施	期間	平成26年	F度	_		の分類		その他	ļ		その他		
	実施	形態	□ 市が直	接実施 [] 一部委託	€ 🗆 :	全部委託•指	定管理	□ ボラン	ティア等との	協働 🗸	! その他		
	実施	根拠	□ 国·県の	制度	□ 国・	県の制度-	+市独自の制	訓度 ☑	市独自0	り制度				
	(法令	·要綱等)	+											
総合計画	画と連打	携する計画等	かわさき保健	医療プラン,産	E業振興プラ	ン								
SDGsの	ゴール	携する計画等 	8 manue	。。 ナノ医療		-	の研究成果をも	もとに関連べン	チャー企業	等が創設され、	実用化に向け	ナナニ取組が進	しまり、研究	
SDGsの: 意識し	ゴール	··ターゲットを	8 manue manue	8.2 ナノ医療活動の3	イノベーション	-	の研究成果をも	もとに関連べン	ゲヤー企業		実用化に向け	けた取組が進	赴むよう、研 タ	
SDGsの 意識し 行財政改	ゴール た取 な 革第3	・ターゲットを 組の方向性	8 manue manue	8.2 ナノ医療活動の3	イノベーション を援を行う。	-	の研究成果をも	もとに関連べン	ゲチャー企業			ナた取組が進	≛むよう、研タ	
SDGsの 意識し 行財政改	ゴール た取 な 革第3	・・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム る課題名	8 marie	8.2 ナノ医療活動の3	イノベーション を援を行う。	-	の研究成果をも	とに関連ベン	·チャー企業 R6年度			ナナ: 取組が進 R7年度	を	
SDGsの 意識し 行財政改	ゴール た取 な 革第3	・・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム る課題名 年度	8 Bash	8.2 ナノ医療活動の3	イノベーション 支援を行う。	センター発の	の研究成果をも	とに関連ベン 計画事業費					までは、研究 はない はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいまい はいまい	
SDGsの 意識し 行財政改	ゴール た取 な 革第3	・・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム る課題名	8 Bash	8.2 ナノ医療活動の3	イノベーション を援を行う。 改革項目 計画事業費	rセンター発の R5年度			R6年度	課	題名	R7年度		
SDGsの 意識し 行財政改	ゴールた取組では、10年間では、10年に	・・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム 3課題名 年度 事業費 A 国庫支出金	8 ************************************	8.2 ナノ医療 活動の3 下度 決算額(見込)	イノベーション を援を行う。 改革項目 計画事業費	R5年度 予算額		計画事業費	R6年度	課	国名 計画事業費	R7年度		
SDGsの記意識し 行財政改 に関 予決算	ゴール (本第3年) 財源	・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム 3課題名 年度 事業費 A	8 maxin R4年 予算額 304.726	8.2 ナノ医療 活動の3 下度 決算額(見込)	イノベーション 支援を行う。 次革項目 計画事業費 304,726	R5年度 予算額 304,726		計画事業費 130,000	R6年度	課	通名 計画事業費 130,000	R7年度		
SDGsの記意識し 行財政改 に関	ゴール系 第3 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	・・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム 3課題名 年度 事業費 A 国庫支出金	8 ************************************	8.2 ナノ医療 活動の3 下度 決算額(見込)	イノベーション 支援を行う。 改革項目 計画事業費 304,726	R5年度 予算額 304,726		計画事業費 130,000 0	R6年度	課	計画李章費 130,000 0	R7年度		
SDGsの記意識し 行財政改 に関 予決算	ゴール (本第3年) 財源	・・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム 3課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債	8 ************************************	8.2 ナノ医療 活動の3 下度 決算額(見込)	イノベーション 支援を行う。 水草項目 計画事業費 304,726 0	R5年度 予算額 304,726 0		計画事業費 130,000 0	R6年度	課	計画李泉表 130,000 0	R7年度		
SDGsの記意識し 行財政改 に関 予決算	ゴール 第3次 東京	・・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム 3課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債 その他特財	8 ************************************	8.2 ナノ医療 活動の3 下度 決算額(見込)	イノベーション 支援を行う。 水草項目 計画事業費 304,726 0 0 174,726	R5年度 予算額 304,726 0 0 174,726		計画事業費 130,000 0 0 0 130,000	R6年度	課	計画事業費 130,000 0 0	R7年度		
SDGsの記意識し 行財政改 に関 予決算	ゴール 第3人	・・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム 3課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債 その他特財 一般財源	R4 ⁴ 予算額 304,726 0 0 174,726 130,000	また。 ・ 大/医療 活動の3 ・ 大学額(見込) 304,726 	イノベーション 支援を行う。 改革項目 計画事業費 304,726 0 0 174,726 130,000	R5年度 予算額 304,726 0 0 174,726 130,000	決算額	計画事業費 130,000 0 0 0 130,000	R6年度 予算額	決算額	計画率录数 130,000 0 0 130,000	R7年度 予算額		

 八门员16、1 并 从并128517 心城员	・ハコにり八川良い	・・ハエと木びて井山
計画(Plan)		
	政策	新たな産業の創出と革新的な技術による生活利便性の向上
政策体系	施策	科学技術を活かした研究開発基盤の強化
	直接目標	先端科学技術分野において、高付加価値で競争力の高い製品を創出する
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	ナノ医療イノベー	・ションセンター(iCONM)
事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	ナノ医療イノベーシ	ションセンターの運営を支援することで、最先端医療関連産業の創出を図ります。
	行います。また、市	営について指導・助言を行うとともに、センターの運営に必要な企業・研究機関などとの応接、視察者への対応を 5と川崎市産業振興財団が共同・連携して研究費の獲得等に取り組み、研究の促進及び研究成果の早期実用化 1の支援を行います。
	②研究成果の早期 ③国等からの研究	つる指導・助言及び企業誘致支援の実施(入居率:90%以上、センターの運営等に関する会議への参加:60回以上) 別実用化に向けた支援の実施(特許出願件数:5(累計98)件以上) 2費獲得支援の実施 活動の広報支援の実施

		実施計画に記載されて 度の取組内容」に対する 達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を 5. 目標を	下回った 大きく下回っ <i>†</i>	Ė			
値等でき	記に掲け でより具 る取組」	内容の実績等 *た取組内容に対し、「 数 体的に実績を示すことが 、又は「未達成部分」若し 成できた部分」を記載)	援を実施し、センター ②研究成果の早期実 許出願件数は11(累 ③センターと連携した 援プログラム)に採択	ました。 に関する各種会議に66回参加し、持約 入居率の目標を達成しました。 民用化に向け、センターが実施する特計104)件となり、目標を達成しました。 国等との打合せや面接審査の対応 され、研究を推進するための研究費ともに、研究活動の広報支援として、	許相談会や 。 こより、令和 獲得につなり	知財マッチンク 4年10月に文 げました。	ブ等の事業化 部科学省所管	支援を行った	結果、センタ・ム(共創の場	一の特
指	票分類	数値で事業の事	- :績・効果等を把握	とできる指標 (指標の説明)	目標·実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
		» = · · · · · · ·			H IM		1.00—12	110-712		4-1
•н		センターの運営等に			目標	60	60	60	60	
1	活動指標	センターの運営等に 運営に関する年間 説明 推進会議(年12回程	関する会議への参ぶ 十画、予算の決定やその他運	加 営に必要な情報を共有するためのイノベーション 捗状況の管理等を行うための戦略推進会議(年4	目標					
1	活動指標	センターの運営等に 運営に関する年間 説明 推進会議(年12回程	関する会議への参 一画、予算の決定やその他運 度)、研究支援事業に係る進	加 営に必要な情報を共有するためのイノベーション 捗状況の管理等を行うための戦略推進会議(年4	目標	60				
1 2	活動	センターの運営等に 運営に関する年間 批進会議(年12回程 回)、管理部定例打 センターの入居率	関する会議への参 調・予算の決定やその他運 度)、研究支援事業に係る進 合せ(月2回程度)等への各年	加 営に必要な情報を共有するためのイノベーション 捗状況の管理等を行うための戦略推進会議(年4	目標実績	60	60	60	60	
1	活指 成 指	センターの運営等に 運営に関する年間 説明 推進会議(年12回程 回)、管理部定例打 センターの入居率	関する会議への参注 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	加 営に必要な情報を共有するためのイノベーション 捗状況の管理等を行うための戦略推進会議(年4 度の参加数	目標 実績	60 66 90	60	60	60	· %
1	活動指標成果	センターの運営等に 連営に関する年間計 推進会議(年12回程 回)、管理部定例打 センターの入居率 説明 企業や研究機関が3	関する会議への参注 計画、予算の決定やその他選度、研究支援事業に係る進合せ(月2回程度)等への各年 専有的に利用できる部屋の予算	加 営に必要な情報を共有するためのイノベーション 捗状況の管理等を行うための戦略推進会議(年4 度の参加数	目標 実績 目標	60 66 90 92	60 — 90 —	60 - 90 -	60 — 90 —	
2	活指 成指 成	センターの運営等に 選営に関する年間計 推進会議(年12回程 回)、管理部定例打 センターの入居率 説明 企業や研究機関が3	関する会議への参注 計画、予算の決定やその他選度、研究支援事業に係る進合せ(月2回程度)等への各年 専有的に利用できる部屋の予算	加 当に必要な情報を共有するためのイノベーション 捗状況の管理等を行うための戦略推進会議(年4 度の参加数 5、入居済みの部屋数に関する各年度の割合	目標 実績 目標	60 66 90 92 5	60 — 90 —	60 - 90 -	60 — 90 —	· %

評価(Check)									
(国•県•他団体(社会環境の変化 の動向や法改正、 和など)							の発生により、医療分野の最新の研究 の実現が求められています。	完成果の実用化による均質・高イ	寸加価値な
事業の見直	し・改善内容	☑ 実施	(直近)	R ;	3 年度		〕未	実施		
※過去に見	見直し・改善内容 直した履歴も記載 場合は記載	るため、セン	ター運営 <i>及</i> ノターでの	なび研?	究活動の	継続的な	支	度以降も極めて公益性の高い活動に 援を実施することとしました。 見するために、財団と市で共同・連携し		
			評	価項目	1				評価	
	【市民の二一ズ】 事業を取り巻く弱	環境の変化等に	こより、事	業に対	するニー	ズが薄オ	ってし	いないか?	a. 薄れていない b. 薄れている	а
必要性	【市が実施する必 他都市で、民間:		是供してい	る事例	削がないか), 3			a. 事例はない b. 事例がある	a
	評価の理由	する看護ニー	-ズに着目 カイフロン	し、看	護の負担 核施設と	軽減につ	つな	E疾患の新たな治療技術の実用化に向 がる医療製品の研究開発を進めるなど の更なる発展及び市民の健康と福祉	、超高齢社会に貢献する研究所	折です。ま
有効性	【成果】 活動結果(活動	指標等)に対し ・	事業の成	果(成:	果指標等	りは順調][=]	-がっているか?	a. 上がっている b, 徐々に上がっている c. 上がっていない	а
	評価の理由	いずれの指標	票において	も目標	悪を達成し	、成果に	ま順詞	調に上がっています。		
	【 民間の活用 】 委託や指定管理	者制度など、	実施手法	につい	て民間活	用により	リコス	トを削減できる余地があるか?	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	а
効率性	【事業手法等の見事業の成果を維 よる事務改善の可	持しながら、身		仕様の	見直した	だによる	経	費削減や事務手続きの見直しなどに	a. 可能性はない b. 可能性はある	а
刈辛注	【質の向上】 事業を適正な(過 部(職員・組織)の						で行	いながら、市民サービスや市役所内	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b
	評価の理由	研究支援事業	業の最適値	とを行っ	った上で、	研究者	を総	合的にサポートする安定した研究支援	体制を構築しました。	
	 	献度区分					_	上記「有効性」の成果等を踏まえ左記	区分を選んだ理由	
施策への 貢献度	A. 貢献してい B. やや貢献し C. 貢献の度名	ている	A	から、 に、F	、共同研	究を希望 ら新たな	する 大型	な運営や安定した研究支援体制を構 企業の入居が進むとともに、これまで 型国費を獲得して異分野融合による研	ベンチャー企業10社を創出しま	した。さら

改善(A	ction)			
	方[向性区分		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
今後の事業 の方向性			I	令和3年度にセンターのこれまでの活動を統括し、令和4年度以降も極めて公益性の高い活動に取り組むセンターとして、安定的に運営するため、研究支援事業の最適化を行った上で、研究者を総合的にサポートする研究支援体制を構築しました。引き続き、市と川崎市産業振興財団が共同・連携し研究成果の実用化に向けて研究支援事業に取り組んでいきます。
	ミ施計画に記載 次年度の取組		5	①施設運営に関わる指導・助言及び企業誘致支援の実施(入居率:90%以上、センターの運営等に関する会議への参加:60回以上) ②研究成果の早期実用化に向けた支援の実施(特許出願件数:5(累計109)件以上) ③国等からの研究費獲得支援の実施 ④視察対応・研究活動の広報支援の実施
今後の事業路まえた次年		変更能 (上記計画上 対する変態	の記載に	
の変更		変更の	理由	

			事務事業:	コード				事務事業名				政策体	系別計画の
	事務	事業	402040		水素戦略・	カーボンニ	ニュートラル						有
			組織コー	-۴					所属名				
	担	当	59270	0 8	塩油部国際	战略本部成	長戦略推進	部					
			事業開始	年度 事	業終了年度	Tels 3/k	サービス等	☆ 分類	1(市民サー	-ビス等)	44:	類2(内部導	(森)
	実施	期間	_	1	_		ッー <u>こへ。</u> の分類	7.	その他		,,,,	——————————————————————————————————————	- 1207
	実施	形態	☑ 市が直	接実施	☑ 一部委託	£ 🗆 :	全部委託・指	定管理	□ ボラン	ティア等との	協働	その他	
	実施	根拠	□ 国·県 <i>σ.</i>)制度	□ 国・	県の制度-	+市独自の制	制度] 市独自σ)制度			
	(法令	•要綱等)											
			国際佐华州	#プニヽ #オー	計画マスター	-プラン 地下	歩温暖化対き	6推准其太言	+面 産業振	用プラン 終っ	全 邦市交通:	計画 地域/	7. 井 衣 涌
総合計画	国と連抜	券する計画等	画										
SDGsの	ゴール	券する計画等ターゲットを組の方向性	国 産業と技能系統の 基数をつくろう	川崎臨済 製品を付 牽引する ボンニュ	毎部が、産業と も給し、市民や 5コンビナートと ートラル化が	環境が高度 企業のスマ- なるとともに	に調和しなが一トなライフスを、世界最高レチカのある産	ら、カーボンニ タイル・ビジネ ·ベルの地域最	ュートラルな ススタイルに 最適化された	エネルギーや 貢献することに クリーンなエネ める。	脱炭素に資す こより、日本の ・ルギー環境に	る付加価値 カーボンニ <i>:</i>	の高い素
SDGsの 意識し 行財政改	ゴール た取象 (革第3	・・ターゲットを	国 産業と技能系統の 事件をつくろう	川崎臨済 製品を付 牽引する ボンニュ	毎部が、産業と も給し、市民や 5コンビナートと	環境が高度 企業のスマ- なるとともに	に調和しなが ートなライフス・ こ、世界最高レ	ら、カーボンニ タイル・ビジネ ·ベルの地域最	ュートラルな ススタイルに 最適化された	エネルギーや 貢献することに クリーンなエネ める。	脱炭素に資すこより、日本の	る付加価値 カーボンニ <i>:</i>	の高い素
SDGsの 意識し 行財政改	ゴール た取象 (革第3	・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム 3課題名	9 822382500	川崎臨済 製品を付 牽引する ボンニュ	毎部が、産業と も給し、市民や 5コンビナートと ートラル化が	環境が高度 企業のスマ- なるとともに	に調和しなが ートなライフス・ こ、世界最高レ 争力のある産	ら、カーボンニ タイル・ビジネ ·ベルの地域最	ュートラルな ススタイルに 最適化された	エネルギーや 貢献することに クリーンなエネ める。	脱炭素に資す こより、日本の ・ルギー環境に	る付加価値 カーボンニ <i>:</i>	の高い素 ュートラルイ けることでナ
SDGsの 意識し 行財政改	ゴール た取象 (革第3	・ターゲットを 祖の方向性 B期プログラム	9 822382500	川崎臨済 製品を付 牽引する ボンニュ	毎部が、産業と は給し、市民や 6コンビナートと ートラル化が『 改革項目	環境が高度 企業のスマ- なるとともに 図られる、競	に調和しなが ートなライフス・ こ、世界最高レ 争力のある産	ら、カーボンニ タイル・ビジネ ·ベルの地域最	ュートラルな ススタイルに よ適化された/ よう取組を進	エネルギーや 貢献することに クリーンなエネ める。	脱炭素に資す こより、日本の ・ルギー環境に	「る付加価値 カーボンニュ こより、立地す	の高い素 ュートラルイ することです
SDGsの 意識し 行財政改	ゴール た取業 (革第3 連する	・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム 3課題名	9 ######## 9 #########################	川崎臨済 製品を付 牽引する ボンニュ	毎部が、産業と は給し、市民や 5コンビナートと ートラル化が 改革項目 計画事業費	環境が高度 企業のスマーなるとともに 図られる、競	に調和しなが ートなライフス こ、世界最高レ 争力のある産	ら、カーボンニ タイル・ビジネ ベルの地域量 業地域となる	ユートラルなススタイルに よ適化されたなよう取組を進	エネルギーや 貢献することに クリーンなエネ める。	脱炭素に資すこより、日本のルギー環境に	る付加価値 カーボンニ- より、立地す	の高い素 ュートラルイ することです
SDGsの 意識し 行財政改	ゴールた取糸(革第3)	・・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム 5課題名 年度	9 ####################################	9.4 製品を付金 ポンニュ アルター (単二) (単二) (単二) (単二) (単二) (単二) (単二) (単二)	毎部が、産業と は給し、市民や 5コンビナートと ートラル化が 改革項目 計画事業費	環境が高度 企業のスマー なるとともに 図られる、競 R5年度 予算額	に調和しなが ートなライフス こ、世界最高レ 争力のある産	ら、カーボンニタイル・ビジネペルの地域最業地域となる	ユートラルなススタイルに よ適化されたなよう取組を進	エネルギーや 貢献することに クリーンなエネ める。	脱炭素に資すこより、日本のルギー環境に関名	る付加価値 カーボンニ- より、立地す	の高い素 ュートラルイ することでナ
SDGsの記意識し 行財政改 に関 予決算	ゴールた取名 革第3 基準 財源	・ターゲットを 祖の方向性 部期プログラム る課題名 年度 事業費 A	国 9 ************************************	9.4 製品を付金 ポンニュ アルター (単二) (単二) (単二) (単二) (単二) (単二) (単二) (単二)	毎部が、産業と 総し、市民や らコンビナートシ ートラル化が 改革項目 計画事業費 19,703	環境が高度 企業のスマー なるとともに 図られる、競 R5年度 予算額 43,765	に調和しなが ートなライフス こ、世界最高レ 争力のある産	ら、カーボンニ タイル・ビジネ ベルの地域是 業地域となる 計画事業費 19,703	ユートラルなススタイルに よ適化されたなよう取組を進	エネルギーや 貢献することに クリーンなエネ める。	脱炭素に資すこより、日本の ルギー環境に 関名 計画事業費 19,703	る付加価値 カーボンニ- より、立地す	の高い素 ュートラルイ することです
SDGsの記意識し 行財政改 に関	ゴール 本第3	・ターゲットを 祖の方向性 部期プログラム る課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債 その他特財	国 9 ************************************	9.4 製品を付金 ポンニュ アルター (単二) (単二) (単二) (単二) (単二) (単二) (単二) (単二)	毎部が、産業と は給し、市民や ニンピナートと ートラル化が 改革項目 計画事業費 19,703 0 0	環境が高度 企業のスマ・ なるとともに 図られる、競 R5年度 予算額 43,765 0 0	に調和しなが ートなライフス こ、世界最高レ 争力のある産	ら、カーボンニ タイル・ビジネ ペルの地域景 業地域となる 計画事業費 19,703 0 0	ユートラルなススタイルに よ適化されたなよう取組を進	エネルギーや 貢献することに クリーンなエネ める。	脱炭素に資すこより、日本の ルギー環境に 選名 計画事業費 19,703 0 0	る付加価値 カーボンニ- より、立地す	の高い素 ュートラルイ することでナ
SDGsの記意識し 行財政改 に関 予決算	ゴール系 革連 財源内訳	・ターゲットを 祖の方向性 部期プログラム る課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債 その他特財 一般財源	画 9 ************************************	9.4 期崎臨路 製品を付 牽引する ボンニュ 年度 決算額(見込) 20,820	毎部が、産業と は給し、市民や ニンピナートと ートラル化が 改革項目 計画事業費 19,703 0 0 1 19,702	環境が高度 企業のスマー なるともは 図られる、競 R5年度 予算額 43,765 0 0 1 43,764	に 調和しなが 一 トなライフス: 、 世界最高レ 争力のある産 決算額	ら、カーボンニ タイル・ビジネ ペルの地域景 業地域となる 計画事業費 19,703 0 0 1 19,702	ユートラルなススタイルに ススタイルに 返適化された。 よう取組を進 R6年度 予算額	エネルギーや 貢献することに クリーンなエネ める。	脱炭素に資すこより、日本の ルギー環境に 選名 計画事業費 19,703 0 0 1 19,702	る付加価値 カーボンニ- より、立地す R7年度 予算額	の高い素 ュートラルイ することです
SDGsの記意識し 行財政改 に関 予決算	ゴール系 (革第3) 財源内訳	・ターゲットを 祖の方向性 部期プログラム る課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債 その他特財	国 9 ************************************	9.4 期	毎部が、産業と は給し、市民や ニンピナートと ートラル化が 改革項目 計画事業費 19,703 0 0	環境が高度 企業のスマ・ なるとともに 図られる、競 R5年度 予算額 43,765 0 0	に調和しなが ートなライフス こ、世界最高レ 争力のある産	ら、カーボンニ タイル・ビジネ ペルの地域景 業地域となる 計画事業費 19,703 0 0 1 19,702 0	ユートラルなススタイルに よ適化されたなよう取組を進	エネルギーや 貢献することに クリーンなエネ める。	脱炭素に資すこより、日本の ルギー環境に 選名 計画事業費 19,703 0 0 1 19,702 0	る付加価値 カーボンニ- より、立地す	の高い素* ュートラルイ することでか

 八仟貝は、『昇・次昇における戦員	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	11 30.	
十 画(Plan)			
	政	策	新たな産業の創出と革新的な技術による生活利便性の向上
政策体系	施	策	スマートシティの推進
	直接目	目標	スマートシティの推進により、新たな産業やサービスを創出する
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	事業者、市民	民	
事業の目的 対象をどのような状態にしたいか)			た新たなプロジェクトを創出・推進することで、カーボンニュートラル社会の実現に向けた取組の発展及び、川崎 力の強化を図ります。
事業の内容 どういった業務内容で、どのような 手段で実施しているか)	炭素を再資 ジの実現に	源化すん 向けた「	ートラルコンビナート構想」に基づく「水素を軸としたカーボンニュートラルなエネルギーの供給拠点」、「域内外のる炭素循環型コンビナート」、「エネルギーが地域最適化され、立地競争力のある産業地域」の3つの将来イメー川崎水素戦略」、「炭素循環戦略」、「エネルギー地域最適化戦略」を推進するとともに、多様な主体と連携したで創出・推進します。
第3期実施計画に記載され こいる当該年度の取組内容	③ 協 (CO2フリー (S) ハイブリッ (S) 小素循環 (ア) 炭素素 水ル・ (大電気・熱 ボー (別) (別) (別) (別) (別) (別) (別) (別) (別) (別)	・	調査の実施 5分水素の大規模利用実証の実施 水素等供給の検討 ・入供給拠点形成に向けた取組 車両実証実験など、多様な主体と連携したプロジェクトの推進 度向上に向けた取組の推進 基づく取組 拡大等に向けた取組の推進 適化戦略」に基づく取組 地域最適化等に向けた取組の推進 ートラルコンピナート構想」に基づく取組 ギーの利活用促進等に向けた取組の推進 ーポンニュートラル化に向けたプロジェクトの創出・推進(プロジェクト累計数:12件、打合せ等実施回数:200回、

Ф	佐仕	田 (Do)										
		果 (Do) 実施計画に記載されて その取組内容」に対する 達成度			てきく上回って達成 - 回って達成 票どおり		4. 目標を 5. 目標を	下回った 大きく下回っ <i>t</i>	Ξ			
値等でき	記に掲げ でより具 る取組」、	内容の実績等 た取組内容に対し、数 体的に実績を示すことが アは「未達成部分」若し 成できた部分」を記載)	目標を上回調査を上回ので産業で、 (1) NEDOの調査定事等のといきでは、 (2) NEDOの調査定事等のといきにある。 (3) NEDOの調査に事業ののでは、 進めましたのグリーンのが、 (4) NEDOのが証」についままた。 (5) 水素・マースレールカレーに、 (5) 大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	に結っています。 に結りいます。 に結って、で得採るには、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、	とがでけ、パートできました。ラートできました。ラートできました。 アート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	イ用等では、 に合い、 に合い、 に合い、 に合い、 に合い、 に合い、 に合い、 に合い	用する 水 素	を供給モデル (全連が) はいから (本語) はいら (本語	の事業性調査 まれ5年9月横に3 携はエクトリーに 第35年2トリーに 異性に 大 一段 におけた 一段 におけた 一段 におけた 一段 におけた 一段 におけた 一段 におけた での情報 発 での になける をでの にない にない にない にない にない にない にない にない	を実施し、水での1か年事事に 兵市と締結しれ についる「液化水と。 していて、 について、 をは、世界といて、 はについて、 をは、世界とが、 にでいて、 をは、 にでいて、 をは、 にでいて、 を情が、 にでいて、 をは、 にでいて、 をは、 にでいて、 をは、 にでいて、 をは、 にでいて、 をは、 にでいて、 をは、 にでいて、 をは、 にでいて、 をは、 にでいて、 をは、 にでいて、 をは、 にでいて、 をは、 にでいて、 をは、 にでいて、 をは、 にでいて、 をは、 にでいて、 をは、 にでいて、 にていて、 にて、 にていて、 にて、 にていて、 にていて、 にていて、 にていて、 にていて、 にていて、 にていて、 にていて、 に	素需要量・パマテレスを事業完了では、またでは、またでは、またでは、またでは、またができます。 関係 ない ままが はいまい はい	イプライ に 向 か に 一 か に た た き は し し 主
指	厚分類	数値で事業の実	績・効果等を把握	できる指標	関(指標の説	明)	目標·実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
	成果	コンビナートのカーオ	マンニュートラル化に	に向けたプロ	ジェクト件数		目標	12	13	14	15	,,
1	指標	説明 コンビナートのカーホ	ギンニュートラル化に向けたプ	ロジェクトの累計数	t		実績	13	_	_	_	件
	活動	プロジェクト創出・推	進に係る企業等との	の意見交換す	尾施回数		目標	200	200	200	200	
2	指標	説明 川崎カーボンニュート 自治体、国・関係機関	トラルコンビナート構想に基づ 関等との打合せ、ヒアリングす	くプロジェクトの創む 関施回数	出・取組に関する、企業	業、関係	実績	310	_	_	_	
	活動	シンポジウム等にお	ける情報発信回数				目標	8	8	8	8	
3	指標		を得に向けた、シンポジウム、 づく本市取組に関する情報発		る、川崎カーボンニュー	トラルコ	実績	21	_	_	_	回
		·					目標					
4		説明					実績	_	_	_	_	

評価(C	heck)									
事業を取り巻く (国・県・他団体の 規制緩		策定(令和34 ニュートラル(ど、期待が高 また、水素以	₹6月改定〉 のキーテク まっていま 外のカーオ)、水素は成長が期 7ノロジーとして位置 ます。	明待される 置づけられ 関連する	を産業(14分野 1、グリーンイン)の1つであり バーション(C	J、発電·産業 GI)基金事業	ィニュートラルに伴うグリーン成業・運輸など幅広く活用される €においてもいち早く公募・採業 々と打ち出されるなど、カーボ	カーボン Rされるな
事業の見直	し・改善内容	☑ 実施	(直近)	R 3 年度	□≉	実施				
※過去に見	見直し・改善内容 直した履歴も記載 場合は記載	臨海部の特征 定しました。	数を踏まえ	、水素以外のカース	ボンニュー	ートラルに関す	る方向性を含	含め、川崎力	させるとともに、これまでの取 ーボンニュートラルコンビナー 臨海部の水素ネットワークの	ト構想を策
			評	価項目					評価	
	【市民のニーズ】 事業を取り巻く環	環境の変化等に	こより、事業	業に対するニーズカ	が薄れて	いないか?			a. 薄れていない b. 薄れている	а
必要性	【市が実施する必 他都市で、民間		是供してい	る事例がないか?					a. 事例はない b. 事例がある	а
	評価の理由	の川崎カーオ	ドンニュート		構想に基:	づく取組は、全	国に先駆けが	た先進事例。	こ向けた様々な検討が進んで となっています。今後も川崎臨 。	
有効性	【成果】 活動結果(活動持	指標等)に対し	事業の成	果(成果指標等)は	は順調に」	上がっているか	?		a. 上がっている b, 徐々に上がっている c. 上がっていない	а
	評価の理由	活動目標の目	目標値を着	「実に達成し、成果」	とするプロ	ロジェクト数もナ	曽加していま ^っ	す。		
	【 民間の活用 】 委託や指定管理	書制度など、	実施手法に	について民間活用に	によりコス	くトを削減できる	る余地がある	か?	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	С
	【事業手法等の見 事業の成果を維 よる事務改善の可	持しながら、身		仕様の見直しなどに	による経	費削減や事務	手続きの見直	īしなどに	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
効率性				規模の人員体制・引きる余地があるか		いながら、市月	ミサービスやi	市役所内	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b
	評価の理由	様な主体との	連携により	り実施しています。	現在、予	算の中で、協	議会を設立し	、70社を超	国の補助メニューなどを活用し える民間企業など多様な主体 続き更なる効率化等について	と連携を図
	黄	献度区分			_	上記「有効性」	の成果等を踏	替まえ左記し	X分を選んだ理由	
施策への 貢献度	A. 貢献してい B. やや貢献し C. 貢献の度名	ている	Α	点の形成、必要な	よインフラ	の検討、社会	実装に向けた	技術実証な	02フリーエネルギーの需要拡 などを着実に進めており、川崎 が着実に進んでいることから、	臨海部の

改善善(A	ction)		
	方向	1性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
今後の事業 の方向性	I.現状のまま Ⅱ.改善見な Ⅲ.事業規模 Ⅳ.事業廃止 Ⅵ.事業終了	ら継続 公大 引小 I	川崎カーボンニュートラルコンビナート構想における2050年の将来像の実現に向けた、川崎水素戦略、炭素循環戦略、エネルギー地域最適化戦略の3戦略の取組の方向性に基づき、立地企業及び周辺自治体等との連携によるプロジェクトの創出を着実に進めます。また、情報発信について、シンポジウム及びセミナー等の機会を最大限活用するとともに、コロナ後を見据えた、対面による見学等の増加に対応し、水素等に関する社会受容性の向上を図ります。
	毞施計画に記載 次年度の取組₽		「川崎水素戦略」に基づく取組 ①水素供給事業性調査の結果を踏まえた取組の検討・実施 ②企業と連携した海外水素の大規模利用実証の実施結果を踏まえた取組の検討・実施 ③臨海部内外への水素等供給の検討結果を踏まえた取組の検討・実施 ④CO2フリー水素受入供給拠点形成に向けた取記の ⑤いイブリッド鉄道車両実証実験など、多様な主体と連携したプロジェクトの推進 ⑥水素の社会認知度向上に向けた取組の推進 「炭素循環戦略」に基づく取組 ⑦炭素資源の回収拡大等に向けた取組の推進 「エネルギー地域最適化戦略」に基づく取組 ⑧電気・熱利用の地域最適化等に向けた取組の推進 「川崎カーボンニュートラルコンピナート構想」に基づく取組 ⑨CO2フリーエネルギーの利活用促進等に向けた取組の推進 ⑪コンピナートのカーボンニュートラル化に向けたプロジェクトの創出・推進(プロジェクト累計数:13件、打合せ等実施回数:200回、シンボジウム等:8回) ⑪企業の立地誘導
今後の事業 踏まえた次年	の万同性を	変更箇所 (上記計画上の記載に 対する変更箇所)	
の変更		変更の理由	

			事務事業=	コード				事務事業名				政策体	系別計画の記
	事務	事業	404010	10	国際戦略拠	点活性化	比推進事業						有
			組織コー	- ド					所属名				
	担	当	592700	0	塩海部国際 単	战略本部成	支戦略推進	部					
		ue ee	事業開始:	年度 事	業終了年度	事務.	サービス等	车 分類	1(市民サー	-ビス等)	分類	類2(内部導	事務)
	実施	期間	_		_		の分類		その他			その他	
	実施	形態	☑ 市が直持	接実施	☑ 一部委託	. 🗆 :	全部委託·指	定管理	ロ ボラン	ティア等との	協働 □	その他	
	実施	根拠	□ 国・県の	制度	☑ 国・	県の制度-	+市独自の制	前度 □	市独自の	D制度			
	(法令	·要綱等)	総合特別区均	或法、国家戦	洛特別 区 域》	去、都市再:	生特別措置沒	法					
ᄽᄉᆗᇎ	er L. vels d	***	- nm +- m 14 34			0-		+ +-	## 1= cm =² -				Z = 1 -
で自計性	当と連 け	携する計画等	国際施策推進	≛フラン,都市	計画マスター	ブラン,かれ	わさき保健医	撩フフン,産	耒振興ノフ	ン,総合都市:	交通計画,地	!哦公共父:	通計画
SDGsの:	ゴール	房する計画等 	8 messive 每次或表布	。。ライフサ	イエンス・環境	分野のオー	りさき保健医 デンイノベーシ 推進することで	ョン拠点の形	成に向け、ク	ラスター化推え	進やインキュヘ	ヾーションの〕	取組によりィ
SDGsの: 意識し	ゴール ンた取糸	・・ターゲットを	8 massive 0 massin 8	8.3 ライフサ ベーショ	イエンス・環境	分野のオー	プンイノベーシ	ョン拠点の形	成に向け、ク	ラスター化推議を進め、生産活	進やインキュヘ	ヾーションの〕	取組によりィ
SDGsの 意識し 行財政改	ゴール た取 文革第3	・・ターゲットを 祖の方向性	8 medius	8.3 ライフサ ベーショ	イエンス・環境 ン・エコシステ <i>。</i>	分野のオームの構築を持	プンイノベーシ 推進することで	ョン拠点の形、研究成果の	成に向け、ク社会実装化	ラスター化推議を進め、生産活	進やインキュ^ 舌動及び雇用(題名	ベーションの] の創出を推済	取組によりっ
SDGsの 意識し 行財政改	ゴール た取 文革第3	・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム る課題名	8 medius	8.3 ライフサ ベーショ i 多様な主体と	イエンス・環境 ン・エコシステ <i>。</i>	分野のオームの構築を持	プンイノベーシ 推進することで	ョン拠点の形、研究成果の	成に向け、ク社会実装化	プラスター化推送を進め、生産活	進やインキュ^ 舌動及び雇用(題名	ベーションの] の創出を推済	取組によりっ 進する。 ・ステムの構築
SDGsの 意識し 行財政改	ゴール た取 文革第3	・・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム	8 maxx (1) 取組3(1)	8.3 ライフサ ベーショ i 多様な主体と	イエンス・環境 ン・エコシステム 改革項目 の協働・連携	分野のオー ムの構築を持	プンイノベーシ 推進することで	ョン拠点の形、研究成果の	成に向け、ク 社会実装化 戦略拠点キン	プラスター化推送を進め、生産活	進やインキュ^ 舌動及び雇用(題名	<ーションの〕 の創出を推済 ーション・エコシ	取組によりっ 進する。 ・ステムの構築
SDGsの 意識し 行財政改	ゴール た取 文革第3	・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム る課題名	8 maxx (1) 取組3(1)	8.3 ライフサ ベーショ 多様な主体と	イエンス・環境ン・エコシステム 改革項目 の協働・連携	分野のオームの構築を打 いたよるまちて R5年度	プンイノベーシ 推進することで づくりの推進	ョン拠点の形、研究成果の	成に向け、ク 社会実装化 戦略拠点キン・ R6年度	プラスター化推送を進め、生産活 課 課 グスカイフロントI	進やインキュへ 舌動及び雇用の 選名 こおけるイノベー	ベーションの! の創出を推立 ーション・エコシ R7年度	取組により がまする。
SDGsの: 意識し 行財政改 に関	ゴールた取組革第3	・・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム 3課題名 年度	8 maxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx	8.3 ライフサ ベーショ 多様な主体と 下度 決算額(見込)	イエンス・環境ン・エコシステム 改革項目 の協働・連携	分野のオームの構築を対 によるまちで R5年度 予算額	プンイノベーシ 推進することで づくりの推進	ョン拠点の形 、研究成果の 13・国際 計画事業費	成に向け、ク 社会実装化 戦略拠点キン・ R6年度	プラスター化推送を進め、生産活 課 課 グスカイフロントI	進やインキュへ 活動及び雇用の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ベーションの! の創出を推立 ーション・エコシ R7年度	取組により がまする。
SDGsの: 意識し 行財政改 に関 予決算 (単位:	ゴール た取 文革第3	・ターゲットを 祖の方向性 部期プログラム る課題名 年度	取組3(1) R4章 予算額 498,363	8.3 ライフサ ベーショ 多様な主体と 下度 決算額(見込)	イエンス・環境 ン・エコシステ 次革項目 の協働・連携 計画事業費 305,330	分野のオームの構築を打 によるまち、 R5年度 予算額 316,005	プンイノベーシ 推進することで づくりの推進	ョン拠点の形、研究成果の 13・国際 計画事業費 489,730	成に向け、ク社会実装化 戦略拠点キン・ R6年度	プラスター化推送を進め、生産活 課 課 グスカイフロントI	性やインキュへ 舌動及び雇用 堕名 こおけるイバー 計画事業費 230,251	ベーションの! の創出を推立 ーション・エコシ R7年度	取組により、 進する。 ・ステムの構築
SDGsの高識し 行財政改 に関	ゴール 本第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム 3課題名 年度 事業費 A 国庫支出金	取組3(1) R4年 予算額 498,363 46,222	8.3 ライフサ ベーショ 多様な主体と 下度 決算額(見込)	イエンス・環境 ン・エコシステ. 改革項目 の協働・連携 計画事業費 305,330 9,112	分野のオームの構築を持 によるまちつ R5年度 予算額 316,005 8,840	プンイノベーシ 推進することで づくりの推進	ョン拠点の形 、研究成果の 13・国際 計画事業費 489,730 98,212	成に向け、ク社会実装化 戦略拠点キン・ R6年度	プラスター化推送を進め、生産活 課 課 グスカイフロントI	進やインキュへ 活動及び雇用の 連名 こおけるイノベー 計画事業費 230,251 9,112	ベーションの! の創出を推立 ーション・エコシ R7年度	取組により、 進する。 ・ステムの構築
SDGsの: 意識し 行財政改 に関 予決算 (単位:	ゴール 文革第3	・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム る課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債	取組3(1) R4 章 予算額 498.363 46.222 189,000	8.3 ライフサ ベーショ 多様な主体と 下度 決算額(見込)	イエンス・環境 ン・エコシステ。 次革項目 の協働・連携 計画事業費 305,330 9,112 82,000	分野のオームの構築を打 によるまちつ R5年度 予算額 316,005 8,840 73,000	プンイノベーシ 推進することで づくりの推進	コン拠点の形 、研究成果の 13・国際 計画事業費 489,730 98,212 160,000	成に向け、ク社会実装化 戦略拠点キン・ R6年度	プラスター化推送を進め、生産活 課 課 グスカイフロントI	性やインキュゥ 活動及び雇用 選名 こおけるイノベー 計画事業費 230,251 9,112 54,000	ベーションの! の創出を推立 ーション・エコシ R7年度	取組により、 進する。 ・ステムの構築
SDGsの: 意識し 行財政改 に関 予決算 (単位:	ゴールの文章車は対象の表面である。	・ターゲットを 祖の方向性 部期プログラム る課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債 その他特財	取組3(1) R4 章 予算額 498.363 46.222 189,000 12.820	8.3 ライフサ ベーショ 多様な主体と 下度 決算額(見込)	イエンス・環境 ン・エコシステ。 水草項目 の協働・連携 計画事業費 305,330 9,112 82,000 12,820	分野のオームの構築を打 によるまちつ R5年度 予算額 316,005 8,840 73,000 9,289	プンイノベーシ 推進することで づくりの推進	コン拠点の形 、研究成果の 13・国際 計画事業費 489,730 98,212 160,000 35,320	成に向け、ク社会実装化 戦略拠点キン・ R6年度	プラスター化推送を進め、生産活 課 課 グスカイフロントI	性やインキュウ 活動及び雇用の 国名 こおけるイノベー 計画事業費 230,251 9,112 54,000 12,820 154,319	ベーションの! の創出を推立 ーション・エコシ R7年度	取組により (進する。
SDGsの: 意識し 行財政改 に関 予決算 (単位:	ゴた文革連ず、財源内訳	・ターゲットを 祖の方向性 部期プログラム る課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債 その他特財 一般財源	取組3(1) R4年 予算額 498.363 46.222 189.000 12.820 250.321	8.3 ライフサ ベーショ i 多様な主体と F度 次算額(見込) 261,998	イエンス・環境 ン・エコシステ. 改革項目 の協働・連携 計画事業費 305,330 9,112 82,000 12,820 201,398	分野のオームの構築を によるまち R5年度 予算額 316,005 8,840 73,000 9,289 224,876	プンイノベーシ 推進することで づくりの推進 決算額	コン拠点の形 、研究成果の 13・国際 計画事業費 489,730 98,212 160,000 35,320 196,198	成に向け、ク 社会実装化 戦略拠点キン R6年度 予算額	プラスター化推送を進め、生産活	性やインキュウ 活動及び雇用の 国名 こおけるイノベー 計画事業費 230,251 9,112 54,000 12,820 154,319	ペーションのJ の創出を推注 ーション・エコシ R7年度 予算額	取組により、 進する。 ・ステムの構刻 決算額

	† 画(Plan)		
		政策	臨海部を活性化する
	政策体系	施策	臨海部の戦略的な産業集積と基盤整備
		直接目標	臨海部の立地企業を増やし、生産活動を活発にする
	事業の対象 (事業の対象となる人、物)	立地する企業・研	究機関・大学などを含むキングスカイフロントエリア
(5	事業の目的 対象をどのような状態にしたいか)		D研究者が集まり、活発な交流から川崎発の革新的なイノベーションが次々に生まれる、キングスカイフロントならョン・エコシステムを構築し、日本の経済成長を牽引する国際戦略拠点を形成します。
(,	事業の内容 どういった業務内容で、どのような 手段で実施しているか)		ーとのマッチングイベント等を通じた産業連携や立地機関によるエリアマネジメント支援、インキュベーション機能の機能な拠点整備等により、人材・資金・モノ・情報の好循環が生まれるエコシステム構築に向け取り組みます。
_	第3期実施計画に記載され こいる当該年度の取組内容	②域内外への産 ③域内外への産 ⑤エリアマネジメ ⑥域内の交流連 ⑦キングスカイフ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	爰策の獲得や活用の取組の推進 業波及に向けたマッチング事業や研究会等の検討・実施(累計マッチング件数:85件) 業波及に向けた海外クラスターとの交流の実施 パッジ開通を契機とした羽田エリアとの産業連携の強化と取組の推進 シト組織の円滑な運営 携等の事業の実施 ロントの価値向上に向けた情報発信 ロントの利便性向上に向けたサポート機能等の導入の推進 を含む研究機関等の誘致 たインキュペーション事業の推進及び周辺地域への立地促進 最先端の研究者を継続的に呼び込む取組の推進(インキュペーション施設累計入居企業数:14社以上) や憩い交流機能の導入など拠点整備の推進

実施結果 (Do) 上記「第3期実施計画に記載されて 1. 目標を大きく上回って達成 4. 目標を下回った いる当該年度の取組内容」に対する 2. 目標を上回って達成 5. 目標を大きく下回った 達成度 3. ほぼ目標どおり ほぼ目標どおり達成できました ①については、国の大型プログラム「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)」において、慶應義塾大学が代表機関、本市が参 画機関として令和3年度に採択された「誰もが参加し繋がることでウェルビーイングを実現する都市型ヘルスコモンズ共創拠点」について、医療分野における産学官共創システムの構築に向けた検討を推進しました。また、同プログラム(COI-NEXT)において、川崎市産業振興財団が代表機関、本市が参画機関となる「レジリエント健康長寿社会の実現を先導するグローバルエコシステム形成拠 点」が令和4年10月に新たに採択されました。さらに、下記⑪のシェアラボ事業においても国の支援策を獲得し、事業の実施を加速し ②については、産学・産産連携など拠点活動の活性化を通じた地域産業への波及を促進するため、キングスカイフロント域内外の 企業等のマッチングを新たに25件実施(累計117件)しました。キングスカイフロント内外の講師を招くサイエンスカフェを8回開催し、 参加者同士の関係構築を推進しました。 ついては、スペイン大使館、欧州の4つのクラスター、日欧産業協力センター等がキングスカイフロントを視察し、連携した取組 を検討しました。また、PhRMA(米国研究製薬工業協会)主催のシンポジウムを11月に開催したことに加え、在日フランス商工会議所 が運営するHello Tomorrow Japanとの連携を開始しました。さらに3月には、ドイツのバイオクラスターBioMとの経済連携強化の覚書 を更新しました。 ④については、多摩川スカイブリッジの開通を踏まえ、大田区との連携を推進し、オープンイノベ・ -ション等をテ 取組内容の実績等 ウムを10月に、スタートアップ等をテーマにしたイベントを6月・9月・3月に実施した他、本市市長・大田区長による相互の訪問を含め、両拠点間の視察・情報交換等を行いました。また、HICity・羽田エアポートガーデンがキングスカイフロントネットワーク協議会の (上記に掲げた取組内容に対し、「数値等でより具体的に実績を示すことができる取組」、又は「未達成部分」若し 活動に参画し、連携を推進しました ⑤と⑥については、立地機関で構成するネットワーク協議会の事務局として協議会活動を円滑に運営し、操業環境の向上を目的に くは「**より達成できた部分**」を記載) 年4回の総務企画部会と年2回のセミナー等を開催するとともに、会員間の交流促進を目的に年6回の交流連携部会と夏の科学イ ベントをはじめとした交流事業を複数回開催しました。また、川崎市産業振興財団クラスター事業部を通じて、キングスカイフロント の研究者等がサイエンスを介して情報交換・交流できる機会として、サイエンスカフェの他、キングスカイフロントサイエンスフォーラ ムを2月に開催しました ⑦キングスカイフロントに関連するセミナー等を76回開催するとともに、その情報を川崎市産業振興財団クラスター事業部のネット ワークやHP等を通じて、業界や国内外のクラスター等に対して発信するとともに、市民等に対しても30回の視察を通じて域内の取 組を分かりやすく発信しました ⑧については、キングスカイフロントの飲食機能充実のため、キッチンカーの出店等を促進するとともに、9月から隔週でキングスカ イフロントの立地機関へランチ情報の提供を開始しました。また、交通環境向上のため、7月から電動キックボードのポートを従前の キングスカイフロントに加え、小島新田・HICity等にも設置しました ⑨~⑪については、川崎市産業振興財団にて6月にシェアラボ「iCONM in collaboration with BioLabs」、8月にシェアオフィス「殿町コネクト」を開設し、インキュベーション事業を開始しました。既に運営しているライフイノベーションセンター(LIC)への入居企業と合わせ、累計入居企業は18社となり、高度な技術を持つ研究者・企業の集積を推進することができました。 ⑫災害時の安全対策及び良好な景観形成を図るため、電線共同溝引込管路工事や殿町第3公園一部改修、案内サイン設置を実 施しました。電線共同溝本体管路工事については、入札不調により次年度実施することとなりました。

	指核	票分類	数值	直で事業の実績・効果等を把握できる指標 (指標の説明)	目標·実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
	,	成果	キング	「スカイフロント域内外の企業等マッチング件数	目標	85	95	110	130	lul-
		指標	説明	キングスカイフロント域内外の企業等マッチングの累計数	実績	117	_	_	ı	件
	•	成果	インキ	ュペーション施設への累計入居企業数	目標	14	20	28	36	4.
	2	指標	説明	キングスカイフロント内及び周辺のインキュベーション施設に入居したスタートアップの累計数	実績	18	_	_	-	社
ı		成果	キングスカ	イフロントに関連する研究者、技術者等の交流会、セミナーなどが開催された回数(本市が主催するものは除く。)	目標	65	70	75	80	
	3	指標	説明	年度末時点における主催者からの開催の報告に基づき集計する開催回数(単年度)	実績	76	_	_	_	
ı	,				目標					
	4		説明		実績	-	_	-	I	

評価(C	heck)					
	社会環境の変化)動向や法改正、 和など)			市再生緊急整備地域が拡大され、羽田連絡道路の整備が地域整開通を契機とし、羽田グローバルウィングズ(羽田空港跡地)と連		
具体的なり ※過去に見	し・改善内容 記直し・改善内容 直した履歴も記載 場合は記載	川崎市産業技 平成30年度: ベーション・エ 平成28年度: ントの構築に	長興財団を マネジメン リアマネジ キングスナ 取り組む必	R 2 年度 □ 未実施 関発活動の活発化とその事業化支援を効率的かつ効果的に実施 中心とする運営体制に移行しました。 トセンターをResearch Gate Building TONOMACHI2に移転拡充す ジメント推進担当を本庁から勤務地変更しました。 カイフロントについては、平成28年度末にはまちづくりが概成し、今後 多要があることから、現地にマネジメントセンターを設置し、立地企動 うこととしました。	るとともに、新たに国際戦略推議 後は持続的な発展に向けて拠点	進部イノ ≅マネジメ
			評価	面項目	評価	
	【市民のニーズ】 事業を取り巻く環	環境の変化等に	こより、事業	準に対するニーズが薄れていないか?	a. 薄れていない b. 薄れている	a
必要性	【市が実施する必 他都市で、民間		是供してい	る事例がないか?	a. 事例はない b. 事例がある	а
	評価の理由	我が国の成分 性化を進めて		るとともに、本市経済への波及や本市財政への貢献を図るため、	行政が主導して国際戦略拠点の	D形成·活
有効性	【成果】 活動結果(活動	指標等)に対し	事業の成績	果(成果指標等)は順調に上がっているか?	a. 上がっている b, 徐々に上がっている c. 上がっていない	a
	評価の理由	成果目標のほるなど取組を		実に達成しています。今後も産学・産産連携などの拠点活動の活 きます。	性化を通じた地域産業への波及	及を促進す
	【 民間の活用 】 委託や指定管理	者制度など、	実施手法に	こついて民間活用によりコストを削減できる余地があるか?	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	С
効率性	【事業手法等の見 事業の成果を維 よる事務改善の可	ーフェ 持しながら、封		士様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどに	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
が中に				規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内 きる余地があるか?	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b
	評価の理由	令和2年度か	らクラスタ		Ξ.	
	T	献度区分		上記「有効性」の成果等を踏まえ左記2	3分を選んだ理由	
施策への 貢献度	A. 貢献してい B. やや貢献し C. 貢献の度名	る ている	A	ライフサイエンス分野の最先端技術を有する企業や研究機関等の立地機関と市内企業とのマッチング事業の推進、イベント開催支持った結果、キングスカイフロント域内外の連携やイノベーションカター形成が進展しており、エリアとしての持続的発展に貢献したた	の集積を活かした、立地機関同 援、インキュベーション機能の導 が次々と創出される世界最高水	入等を

改善(A	ction)		
	方「	向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
今後の事業 の方向性	I. 現状のままが II. 改善しなが III. 事業規模 IV. 事業廃止 VI. 事業終了	ぶら継続 広大 T	キングスカイフロントに立地する各機関が相互に関与して世界最高水準のクラスターを形成し、イノベーションを創出するエコシステムを構築するために、川崎市産業振興財団を中心とした拠点運営体制の下、国の支援プログラムを活用しながら研究・事業活動を推進するとともに、産学・産産連携など地域産業への波及促進、国内外クラスターとの拠点間連携、エリアマネジメント、情報発信に取り組みます。
	尾施計画に記 載 次年度の取組!		①新たな国の支援策の獲得や活用の取組の推進 ②域内外への産業波及に向けたマッチング事業や研究会等の検討・実施(累計マッチング件数:95件) ③域内外への産業波及に向けたマッチング事業や研究会等の検討・実施(累計マッチング件数:95件) ③域内外への産業波及に向けた海外クラスターとの交流の実施 ④多摩川スカイブリッジ開通を契機とした羽田エリアとの産業連携の強化と取組の推進 ⑤エリアマネジメント組織の円滑な運営 ⑥域内の交流連携等の事業の実施 ⑦キングスカイフロントの価値向上に向けた情報発信 ⑧キングスカイフロントの利便性向上に向けたサポート機能の導入の推進 ⑨ベンチャー企業を含む研究機関等の誘致 ⑩事業者と連携したインキュペーション事業の推進及び周辺地域への立地促進 ⑪シェアラボ等、最先端の研究者を継続的に呼び込む取組の推進(インキュペーション施設累計入居企業数:20社以上) ②電線類地中化や憩い交流機能の導入など拠点整備の推進、電線類地中化の完了
今後の事業路まえた次年		変更箇所 (上記計画上の記載 対する変更箇所)	②電線類地中化や憩い交流機能の導入など拠点整備の推進
の変す		変更の理由	②電線類地中化に向けた電線共同溝本体管路工事について、R4年度に実施する予定でしたが、入札不調により次年度実施することから、R5年度は電線類地中化や憩い交流機能の導入など拠点整備の推進を継続実施し、電線類地中化はR6年度に完了することとしました。

事業の	THU S												
	車数	事業	事務事業□	1-6				事務事業名				政策体	系別計画の額
	7777	***	404010	15	敞略拠点形	成推進事	業						有
	40	N/z	組織コー	- ド					所属名				
	担	当	593500) [塩海部国際 戦	战略本部戦	略拠点推進	室					
			事業開始	年度 事	業終了年度	事務・	サービス等	车 分類	1(市民サ-	-ビス等)	分	類2(内部導	事務)
	実施	期間	2018		_		の分類		その他			その他	
	実施	.形態	☑ 市が直接	妾実施 5	☑ 一部委託	: 🗆 :	全部委託·指	定管理	□ ボラン	ティア等との	協働	その他	
	実施	根拠	□ 国・県の	制度	☑ 国・	県の制度-	+市独自の制	消度 [市独自0	D制度			
	(法令	冷•要綱等)	都市再生特別	 措置法									
総合計画	画と連	携する計画等	都市計画マス	.タープラン,地	地球温暖化 対	策推進基準	本計画,産業	振興プラン					
SDGsの:	ゴール	携する計画等 レ・ターゲットを 組の方向性	9 産業と技術系統の 単特をつくろう)。 南渡田均	地球温暖化対 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	臨海部既存	産業との親和	性やカーボン				先端の機能	及び高度ノ
SDGsの: 意識し	ゴール た取	レ・ターゲットを	9 産業と民能系統の 基格をつくろう	9.2 南渡田 ^均 等の集積	也区において、	臨海部既存	産業との親和	性やカーボン		処点を形成する		先端の機能	及び高度ノ
SDGsの 意識し 行財政改	ゴールた取る	レ・ターゲットを 組の方向性	9 産業と民能系統の 基格をつくろう	9.2 南渡田 ^均 等の集積	也区において、 責を進め、持続	臨海部既存	産業との親和	性やカーボン		処点を形成する	5.	先端の機能	及び高度ノ
SDGsの 意識し 行財政改	ゴールた取る	レ・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム る課題名	9 産業と民能系統の 基格をつくろう	9.2 南渡田均 等の集積	也区において、 責を進め、持続	臨海部既存	産業との親和	性やカーボン		処点を形成する	5.	先端の機能 R7 年度	
SDGsの 意識し 行財政改	ゴールた取る	レ・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム	9 ETCHERRO ANTOCOS	9.2 南渡田均 等の集積	也区において、 情を進め、持続	臨海部既存 可能かつこ	産業との親和	性やカーボン	する新産業	処点を形成する	5.		
SDGsの 意識し 行財政改	ゴールた取る	レ・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム る課題名	9 ETCHERRO ANTOCOS	9.2 南渡田均 等の集和	也区において、 責を進め、持続 改革項目 計画事業費	臨海部既存可能かつこ	産業との親和れからの川崎	性やカーボン臨海部を牽引	する新産業 R6年度	拠点を形成する 課 』	图名	R7年度	
SDGsの 意識し 行財政改	ゴールた取れる事事を	レ・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム る課題名 年度	9 ##	南渡田 等の集利 F度 決算額(見込)	也区において、 責を進め、持続 改革項目 計画事業費	塩海部既存可能かつこ。 R5年度 予算額	産業との親和れからの川崎	性やカーボン 臨海部を牽引	する新産業 R6年度	拠点を形成する 課 』	題名 計画事業費	R7年度	
SDGsの: 意識し 行財政改 に関 予決算 (単位:	ゴールででは、一川では、一川では、一川では、一川では、一川では、一川では、一川では、一	レ・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム 3課題名 年度 事業費 A	9 R4年 予算額 40,659	南渡田 等の集利 F度 決算額(見込)	也区において、 責を進め、持続 改革項目 計画事業費 40,659	塩海部既存可能かつこR5年度予算額35,956	産業との親和れからの川崎	性やカーボン 塩海部を牽引 計画事業費 40,659	する新産業 R6年度	拠点を形成する 課 』	图名 計画事業費 40,659	R7年度	
SDGsの記意識し 行財政改 に関	ゴールででは、一川では、一川では、一川では、一川では、一川では、一川では、一川では、一	レ・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム 3課題名 年度 事業費 A 国庫支出金	9	南渡田 等の集利 F度 決算額(見込)	地区において、 青を進め、持続 改革項目 計画事業費 40,659	塩海部既存可能かつこ。 R5年度 予算額 35,956	産業との親和れからの川崎	性やカーボン 塩海部を牽引 計画事業費 40,659	する新産業 R6年度	拠点を形成する 課 』	型名 計画事業費 40,659 0	R7年度	
SDGsの: 意識し 行財政改 に関 予決算 (単位:	ゴールででは、一川では、一川では、一川では、一川では、一川では、一川では、一川では、一	レ・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム 3課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債	R4年 予算額 40.659 0	南渡田 等の集利 F度 決算額(見込)	也区において、 責を進め、持続 牧革項目 計画事業費 40,659 0	塩海部既存可能かつこれR5年度予算額35,95600	産業との親和れからの川崎	性やカーボン 塩海部を牽引 計画事業費 40,659 0	する新産業 R6年度	拠点を形成する 課 』	名。 班名 計画事業費 40,659 0	R7年度	
SDGsの: 意識し 行財政改 に関 予決算 (単位:	ゴールででは、一川では、一川では、一川では、一川では、一川では、一川では、一川では、一	レ・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム 3課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債 その他特財	R4年 予算額 40.659 0 0	南渡田 等の集利 F度 決算額(見込)	也区において、 責を進め、持続 改革項目 計画事業費 40,659 0 0	編海部既存可能かつこれR5年度予算額35,956000	産業との親和れからの川崎	性やカーボン 塩海部を牽引 計画事業費 40,659 0	する新産業 R6年度	拠点を形成する 課 』	日本 計画事業費 40,659 0 0 40,659	R7年度	
SDGsの: 意識し 行財政改 に関 予決算 (単位:	ゴールで、革連・財源内訳・財源内訳・	レ・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム 3期別ログラム 3課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債 その他特財 一般財源	R4年 予算額 40,659 0 0 40,659	9.2 南渡田均 等の集和 下度 決算額(見込) 31.570	也区において、 責を進め、持続 次革項目 計画事業費 40,659 0 0 40,659	臨海部既存 可能かつこ: R5年度 予算額 35,956 0 0 35,956	産業との親和れからの川崎	性やカーボン 塩海部を牽引 計画事業費 40,659 0 0 40,659	R6年度 予算額	拠点を形成する 課 決算額	日本 計画事業費 40,659 0 0 40,659 0	R7年度 予算額	

=1 == /== \		
計画(Plan)		
	政策	臨海部を活性化する
政策体系	施策	臨海部の戦略的な産業集積と基盤整備
	直接目標	臨海部の立地企業を増やし、生産活動を活発にする
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	企業・研究機関・大	学など
		人材が集い、育つ、活力ある戦略拠点の形成に向けて取り組むことで、臨海部の持続的な発展を牽引する次世 業の創出を図ります。
(どういった業務内容で、どのような		を備基本計画に基づき、関係者と連携しながら、拠点形成の取組の幅広い周知や企業等の動向を踏まえた誘致点として相応しい土地利用の実現に向けた基盤整備等の事業推進を図り、素材産業を中心とした新産業拠点を
	①「南渡田地区拠」 ②基本計画に基づ	点整備基本計画」の策定 〈取組の推進

実	施結	果((Do)									
			画に記載されて 【内容」に対する を	3	1. 目標を大 2. 目標を上 3. ほぼ目標		4. 目標を5. 目標を	下回った 大きく下回っ <i>†</i>	is .			
値等でき	記に掲け でより具 る取組」	た取組[体的に] 、又は「 <u>ま</u>)実績等 内容に対し、「数 を検を示すことが 注達成部分 」を記載)	②については、関係 ヒアリング等(85件) 業者を決定し、次世 進することを3者で合	リックコメント等(省庁、国の研究 を実施しました。 代の臨海部を牽 う意しました。協 戦略的な産業集	の所定の手続きを経て。 機関、企業、アカデミア また、基本計画で先行 で引する新産業拠点の刑 議会については、市と関 積を関係者で推進する	などに対し 地区と位置 が成に向け、 関係者で拠り	、新産業拠点 付けた北地区 、研究開発機 点形成の具体	さして相応しい 区北側につい 能や多様な支 化に向けた約	い産業集積や て、地権者が 援機能を中心 目織体制を検討	機能導入等に 市と協議した。 ことした土地利 討した結果、ま	上で事 川用を推 ミずは研
指	標分類	数值	直で事業の実	績・効果等を把抗	屋できる指標	(指標の説明)	目標·実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
	活動	企業部	秀致等に向けた	:関係機関へのヒフ	アリング等の実	施数	目標	60	60	60	60	
1	指標	説明	企業誘致の実現やゴ リング等の実施件数		企業や国の研究機関	、アカデミアなどに対するヒア	実績	85	_	_	_	件
	活動	南渡田	地区拠点形成	成の具体化に向け:	た協議会の開	催回数	目標	1	4	4	4	
2	指標	説明		機能やイノベーション推進の構造を行う協議会の開催性		役割・連携方策等、拠点形成の	実績	0	_	_	_	
							目標					
3		説明					実績	_	_	_	_	
							目標					
4		説明					実績	_	_	_	_	

評	価(C	heck)												
		社会環境の変化)動向や法改正、 和など)	しています。	臨海部にお 化戦略」をst	いてカー 策定し、こ	ーボンニュー これからのう	-トラル デジタ	の推進ル社会・	や素材を グリーン	産業の高 社会をも	度化・高位 のり開くたと	付加価値 めにはマ	換を牽引する新産業拠点の 直化が求められている中、国 マテリアルの革新が不可欠と 持続的発展性の確保が必	は「マテリア しており、そ
事	業の見直	し・改善内容	□ 実施	(直近)	Н	年度	Ø	未実施						
	※過去に見	見直し・改善内容 直した履歴も記載 場合は記載												
				評	価項目								評価	
		【市民の二一ズ】 事業を取り巻く環	環境の変化等に	こより、事業	美に対す.	るニーズが	薄れて	こいない	か?				a. 薄れていない b. 薄れている	а
ú	必要性	【市が実施する必 他都市で、民間 ⁹		提供してい	る事例が	ぶいか?							a. 事例はない b. 事例がある	а
		評価の理由	脱炭素化の選挙する新産業								中、南渡田	地区に	おいて臨海部全体の土地利	用転換を先
4	有効性	【成果】 活動結果(活動持	指標等)に対し	事業の成:	果(成果	指標等)は	順調に	上がって	こいるか	?			a. 上がっている b, 徐々に上がっている c. 上がっていない	b
		評価の理由											成する協議会(幹事会)立ち がっています。	上げの準備
		【 民間の活用 】 委託や指定管理	者制度など、	実施手法に	こついて	民間活用に	よりコ	ストを削	減できる	余地が	あるか?		a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b
, A	办率性	【事業手法等の見 事業の成果を維 よる事務改善の可	 持しながら、身		仕様の見	直しなどに	よる総	圣費削減	や事務号	手続きの	見直しなる	どに	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
^	<i>0</i> - 1	【質の向上】 事業を適正な(過 部(職員・組織)の						テいなが	ら、市民	サービス	スや市役所	沂内	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b
		評価の理由	拠点整備基 進を図る必要			め 事業進持	歩に伴	・い、整備	設階に	応じた適	10正な執行	体制の	構築や民間活用など、効率	的な事業推
		貢	献度区分					上記「有	動性」	の成果等	を踏まえ	左記区	分を選んだ理由	
	策への 貢献度	A. 貢献してい B. やや貢献し C. 貢献の度名	ている	Α	上で事	業者を決定	し、37	旨で研究	開発機能	能を中心	とした土地	也利用σ	策定したことや、地権者が市 の推進に合意したことなど、E の貢献はありました。	

改善(A	ction)			
	方[向性区分		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
今後の事業 の方向性	I.現状のまま II. 現状のまま II. 事業規模 IV. 事業廃止 VI. 事業終了	ら継続 広大	Ш	先行地区である北地区北側における研究開発主体の計画の事業化に向け、都市計画変更や開発許可等の各種法令手続きを着実に進めます。 また、2027年の北地区北側まちびらきに向け、研究開発機能を中心とした企業集積を着実に実現するため、来年度早期に第1回協議会(幹事会)を開催し、事業者と連携した企業誘致活動等の取組を進めながら、拠点整備基本計画に基づく拠点形成のコンセプトや土地利用方針を踏まえた拠点形成の方向性を関係者間で共有した上で、産業集積に向けた取組方針や導入機能の柱等について協議を進めます。
	ミ施計画に記 載 次年度の取組		5	①南渡田地区拠点整備基本計画に基づく取組の推進
今後の事業路まえた次年		変更能 (上記計画上 対する変質	の記載に	
の変す		変更の	理由	

事業の	71443	*											
	古丞	事業	事務事業=	1一ド			1	事務事業名	i .			政策体	系別計画の記
	予伤	一种	404010	17	塩海部大規	模土地和	川用推進事	業					有
		N/z	組織⊐−	-۴					所属名			•	
	担	当	593500) E	5.海部国際戦	战略本部戦	略拠点推進	室					
		. Wn 88	事業開始:	年度 事	業終了年度	事務⊷	サービス等	全 分類	1(市民サー	-ビス等)	分	類2(内部導	務)
	実施	期間	_		_		D 分類	•	その他			_	
	実施	.形態	☑ 市が直持	妾実施 🔽] 一部委託		全部委託·指	定管理	□ ボラン	ティア等との)協働 □	その他	
	実施	i根拠	□ 国・県の	制度	☑ 国·	県の制度-	+市独自の制	割度 [〕市独自∂	D制度			
	(法令	冷・ 要綱等)											
総合計画	画と連	携する計画等	地球温暖化效	対策推進基本	計画,産業振	興プラン							
SDGsØ:	ゴール	携する計画等 レ・ターゲットを 組の方向性	9 産業と保証条節の 単格をつくろう	3.2 扇島地区		土地につい		天サービス向]上に寄与す	るとともに、我に	が国の課題解	詳決に資する	社会的意義
SDGsの: 意識し	ゴール ンた取	レ・ターゲットを	9 産業と技能革新の 基盤をつくろう	9.2 扇島地区 ある土地	(等の大規模な	土地につい		民サービス向]上に寄与す		が国の課題解	発送に資する	社会的意義
SDGsの: 意識し 行財政改	ゴールた取る	レ・ターゲットを 組の方向性	9 産業と技能革新の 基盤をつくろう	9.2 扇島地区 ある土地	5等の大規模な 利用転換に向	土地につい		民サービス向]上に寄与す			発に資する	社会的意義
SDGsの: 意識し 行財政改	ゴールた取る	レ・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム る課題名	9 産業と技能革新の 基盤をつくろう	9.2 扇島地区 ある土地	5等の大規模な 利用転換に向	土地につい		民サービス向	上に寄与す。 R6年度			R7年度	
SDGsの: 意識し 行財政改	ゴールた取る	レ・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム	9 ETCHERRO	9.2 扇島地区 ある土地	る等の大規模な 利用転換に向 牧革項目	土地についけた取組を		民サービス向					
SDGsの: 意識し 行財政改	ゴールた取る	レ・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム る課題名	9 ETCHERRO	3.2 扇島地区 ある土地 F度	る等の大規模な 利用転換に向 牧革項目	は土地についけた取組を	推進する。		R6年度	課	題名	R7年度	
SDGsの: 意識し 行財政改	ゴールた取り	レ・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム る課題名 年度	9 #ROMMARA ### 2003 R4年 予算額	9.2 扇島地区 ある土地 F度 決算額(見込)	等の大規模な 利用転換に向 牧革項目 計画事業費	ま土地についけた取組を R5年度 予算額	推進する。	計画事業費	R6年度	課	題名 計画事業費	R7年度	
SDGsの: 意識し 行財政改 に関 予決算	ゴールで、英第字は、対象を表現である。	レ・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム る課題名 年度 事業費 A	9 第 R4 章 予算額 103,493	9.2 扇島地区 ある土地 F度 決算額(見込)	等の大規模な利用転換に向枚革項目計画事業費103,493	ま土地についけた取組を R5年度 予算額 65,763	推進する。	計画事業費 103,493	R6年度	課	国名 計画事業費 103,493	R7年度	
SDGsの意識し 意識し 行財政改 に関	ゴールな革第す財源内	レ・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム る課題名 年度 事業費 A 国庫支出金	R4年 予算額 103,493 0	9.2 扇島地区 ある土地 F度 決算額(見込)	本項目 計画事業費 103,493	ま土地についけた取組を R5年度 予算額 65,763 0	推進する。	計画事業費 103,493 0	R6年度	課	計画事業費 103,493 0	R7年度	
SDGsの: 意識し 行財政改 に関 予決算	ゴールで、英第字は、対象を表現である。	レ・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム る課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債	R4年 予算額 103.493 0	9.2 扇島地区 ある土地 F度 決算額(見込)	本 本 本 東 大 大 大 本 東 日 大 本 東 日 103,493 0 0	に土地についけた取組を R5年度 予算額 65,763 0	推進する。	計画李宗費 103,493 0	R6年度	課	計画李未安 103,493 0 0	R7年度	
SDGsの: 意識し 行財政改 に関 予決算 (単位:	ゴールな革第す財源内	レ・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム る課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債 その他特財	R4年 予算額 103.493 0 0	9.2 扇島地区 ある土地 F度 決算額(見込)	本 本 本 東 大 大 東 東 大 大 東 東 大 大 東 東 大 大 大 東 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	R5年度 予算額 65.763 0 0	推進する。	計画事業費 103,493 0 0 103,493	R6年度	課	計画事業費 103,493 0 0 0 103,493	R7年度	
SDGsの: 意識し 行財政改 に関 予決算	ゴール文革連財源内訳	レ・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム る課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債 その他特財 一般財源	R4年 予算額 103.493 0 0 103.493	9.2 扇島地区 ある土地 下度 決算額(見込) 62,114	等の大規模な利用転換に向 大車項目 計画事業費 103,493 0 0 103,493	R5年度 予算額 65,763 0 0 65,763	推進する。 決算額	計画事業費 103,493 0 0 103,493	R6年度 予算額	決算額	計画事業費 103,493 0 0 0 103,493	R7年度 予算額	

=1 = / >		
計画(Plan)		
	政策	臨海部を活性化する
政策体系	施策	臨海部の戦略的な産業集積と基盤整備
	直接目標	臨海部の立地企業を増やし、生産活動を活発にする
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	企業・国・自治体を	ì.E
		ルに取り組む基盤や陸海空の結節点となり得る地理的優位性などを活かした未来志向の土地利用に向けて取り 塩海部の持続的発展に繋げるとともに、我が国の重点課題の解決や国際社会におけるプレゼンスの向上を図りま
(どういった業務内容で、どのような	討会議における学	べき役割、土地利用の方向性、導入機能、基盤整備に関する本市の考え方等について、扇島地区土地利用検 識経験者や関係者からの意見聴取等を踏まえて土地利用方針を取りまとめるとともに、JFEや国、民間企業等の との協議・調整や、本市の関連施策の所管部局との調整を行い、土地利用転換を早期に実現します。
	①土地利用方針 <i>0</i> ②交通基盤整備に	D策定 ニ向けた取組の推進

実	施結	果((Do)									
			画に記載されて 【内容」に対する を	3	1. 目標を大き 2. 目標を上回 3. ほぼ目標を		4. 目標を 5. 目標を	下回った 大きく下回っ <i>た</i>	3			
直等でき	記に掲げ でより具 る取組」、	た取組 体的に 又は「)実績等 内容に対し、「數 を機を示すことが 定連成部分」若し 部分」を記載)	あったことから、土地一部土地利用開始を図った上で、土地利用庁等が一体となった寺部5年3月には、我を進めました。②については、扇島的取組としての鉄軌	ーンイノベーション 利用方針の骨材 三和12年度和12年度 日方針を令和5年 「臨海部の大液性」 が国初の一部な大液化か における様々なを 道等の様々な置	ン基金を活用した水素 をとなる方向性等を取り でと示すとともに、それ でというで等休止まで というでは、 ・地利用調整会議」 ・大規模受入地と ・地利用開始を見据えた ・地利用開始を見まえた。 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、 ・は、	りまとめた「」をもとに、具でに策定し、土地でに策定し、土地して川崎臨・短期的取経の地域を含め	土地利用に係 体的な事項に ることとしまし も利用や基盤 海部が選定さ 祖として、国道 めた全体ネッ	る基本的なまこついて、引きた。それを踏ま整備に関するこれをなど、土に357号や首都・フーク構築の	だえ方」を令和 続き、国や関 まえ、令和5年 必要な措置の 地利用方針の に で い い は は は は は は さ い の は さ 、 令 和 5 は り の の は さ の の は り の の は り の り は り の り し り し い り し り し り り し り り り り り り り り	4年11月に策 係者と協議・ 1月に、本市と)検討・調整を 策定に向けて し口整備や、「 日等が整備主	定調関の とここ との ここと とり こう とう こう
指標	票分類	数值	直で事業の実	績・効果等を把提	屋できる指標	(指標の説明)	目標·実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
,	活動	早期の:	上地利用転換に向	けた企業、関係機関、学	・繊経験者等への し	ニアリング等の実施件数	目標	70	70	70	70	<u>"</u>
1	指標	説明		したJFE東日本製鉄所京浜地 経験者等へのヒアリング等の		転換に向けた、企業、国等	実績	90	-	_	ı	件
,			_				目標					
2		説明					実績	_	_	_	_	

評価(の	check)							
(国・県・他団体の	社会環境の変化 D動向や法改正、 和など)	決し、有事は 川崎臨海部に	首都圏を守 こおいて産業	る要となること 集構造の変化等	を目指し 学が進む	優位性を活かし、平時は川崎臨海部の発 ています。 中、国においても、国内外の環境変化やE する取組が展開されています。		
事業の見直	し・改善内容	□ 実施	(直近) R	年度	Ø	未実施		
※過去に見	見直し・改善内容 直した履歴も記載 場合は記載							
			評価	項目			評価	
	【市民の二一ズ】 事業を取り巻く環	環境の変化等に	こより、事業	に対するニース	ぐが薄れ	ていないか?	a. 薄れていない b. 薄れている	а
必要性	【市が実施する必 他都市で、民間		是供している	事例がないか	?		a. 事例はない b. 事例がある	а
	評価の理由			J巻く環境の変や 収組を進める必		するため、社会課題の解決に資するエリ リます。	アづくりに向けて、扇島地区等に	こおける大
	【成果】 活動結果(活動	・ 指標等)に対し	事業の成果	(成果指標等)	は順調ロ	こ上がっているか?	a. 上がっている b, 徐々に上がっている c. 上がっていない	b
有効性	評価の理由	まえた「土地	利用に係る		ち」を策定	で把握できた扇島地区等の土地利用につ とするとともに、関係省庁をはじめとした事 す。		
	【 民間の活用 】 委託や指定管理	者制度など、	実施手法に	ついて民間活月	用により:	コストを削減できる余地があるか?	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b
ᄴᇴᄽ	【事業手法等の見事業の成果を維 よる事務改善の可	持しながら、契	?約方法、仕 ?	様の見直しな。	どによる	経費削減や事務手続きの見直しなどに	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
効率性	【質の向上】 事業を適正な(近 部(職員・組織)の					行いながら、市民サービスや市役所内	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b
	評価の理由	土地利用方針があります。	+に基づく土	:地利用転換の	進捗状	兄に応じて、適正な推進体制の構築や民間	間活用など、効果的な事業推進	を図る必要
	Ţ	献度区分				上記「有効性」の成果等を踏まえ左記録	K分を選んだ理由	
施策への 貢献度	A. 貢献してい B. やや貢献し C. 貢献の度名	ている	Α	土地について、 考え方」を策定	土地利がするとと	東日本製鉄所京浜地区の高炉等休止に作用の方向性や導入機能、基盤整備の考え もに、関係省庁をはじめとした様々なステ はに向けた取組が着実に進んでいることか	#い、扇島地区等に新たに生じた 方等を示した「土地利用に係る 一クホルダーと協議・調整するご	基本的なことにより、

	改善(A	ction)			
ı		方向	向性区分		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	今後の事業 の方向性	1. 現状のまま継続 II. 改善しながら継続 III. 事業規模拡大 IV. 事業規模縮小 V. 事業廃止 III. 事業廃止		ш	JFEや国、民間企業等のステークホルダーと土地利用の具体化に向けた協議を進め、令和5年6月に扇島地区等の導入機能やゾーニングイメージ、基盤整備のスケジュール等を具体化した土地利用方針案を公表後、パブリックコメント等の必要な手続を経た上で、令和5年9月予定の高炉等休止までに土地利用方針を策定するとともに、本方針に基づき、令和12年度までの一部土地利用開始に向けて、様々なステークホルダーと協議・調整を継続しながら、カーボンニュートラルエネルギーや港湾物流の拠点形成などに向けた事業手法等の検討や、事業実施に必要となる首都高速湾岸線の出入口整備及び国道357号整備などを推進し、土地利用転換の早期実現を図ります。
		ミ施計画に記載 次年度の取組!			①土地利用方針に基づく取組の推進 ②交通基盤整備に向けた取組の推進
			変更簡 (上記計画上 対する変質	の記載に	①土地利用方針の策定及び同方針に基づく取組の推進【変更(令和5年度)】
		格まえた次年度の取組内容 の変更簡所		理由	①グリーンイノベーション基金を活用した水素等供給拠点の形成に向けた取組など、国の動向を踏まえながら関係者と協議・調整を図るとともに、土地利用や基盤整備に関する必要な措置について、本市と関係省庁等が一体となって検討・調整を進めた上で、令和5年9月の高炉等休止までに土地利用方針を策定する必要性が生じたため。

	概事												
	事務	車 巻	事務事業=	コード				事務事業名				政策体	本系別計画の額
	+1 777	学 术	404010	20 -	サポートエ!	ノア整備 打	隹進事業						有
	40	NZ.	組織コー	- ド					所属名			•	
	担	当	593000	0 1	臨海部国際戦略本部拠点整備推進			部					
		un ss	事業開始:	年度 事	業終了年度	事務・	サービス等	车 分類	1(市民サー	-ビス等)	分	類2(内部	事務)
	実施	期間	_		_		の分類		その他		政策推進計	十画等(策定	定•進行管3
	実施	形態	☑ 市が直持	接実施	☑ 一部委託	: 🗆 :	全部委託•指	定管理	□ ボラン	ティア等との	協働 □	その他	
	実施	根拠	□ 国・県の	制度	□ 国・	県の制度-	+市独自の制	前度 ☑	市独自の)制度			
	(法令	•要綱等)											
終合計画 かんりょう かんりょう かんりょう かんりょう かんりょう かんりょう かんりゅう かんり	町と連打	携する計画等	都市計画マス	スタープラン,緑	の基本計画	i,総合都市	交通計画,道	路整備プロ	グラム,地域	公共交通計	・画,市バス事	業経営戦	・略プログラ
		37 VIII T	ム										
SDGsの	ゴール	・・ターゲットを 組の方向性	9 産業と技能系統の 基格をつくろう				計に基づき、交 重点を置いた関				ポートエリアの	の整備を推え	進することで
SDGsの: 意識し	ゴール た取綿	・・ターゲットを	9 産業と技能系統の 単作をつくろう	^{9.1} すべてσ						ける。	・ポートエリア(堕名	の整備を推え	進することで
SDGsの 意識し 行財政改	ゴール た取約 (革第3	・・ターゲットを 組の方向性	9 産業と技術差額の 事務をつくらう・	^{9.1} すべてσ)人々に公平な 改革項目	アクセスに	重点を置いた関	塩海部の経済	発展を支援す	ける。	堕名		
SDGsの 意識し 行財政改	ゴール た取約 (革第3	・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム る課題名	9 産業と技術差額の 事務をつくらう・	9.1 すべての i)市民サービス)人々に公平な 改革項目	アクセスに	重点を置いた関	塩海部の経済	発展を支援す	する。 課 』	堕名		く民連携の推
SDGsの 意識し 行財政改	ゴール た取約 (革第3	・・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム	9 *** 2 (45)	9.1 すべての i)市民サービス)人々に公平を 改革項目 スの向上に向	アクセスに	重点を置いた関	塩海部の経済	発展を支援する 新町南緑道及	する。 課 』	堕名	る効果的な公	く民連携の推
SDGsの 意識し 行財政改	ゴール た取約 (革第3	・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム る課題名	9 ####################################	9.1 すべての i)市民サービス 手度	の人々に公平な 改革項目 スの向上に向 計画事業費	アクセスに けた民間 R5年度	重点を置いた関	塩海部の経済	発展を支援を 新町南緑道及 R6年度	する。 課人	題名 線沿道における	る効果的な公 R7年度	く民連携の推
SDGsの 意識し 行財政改	ゴール た取約 (革第3	・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム 3課題名 年度 事業費 A 国庫支出金	り ##25(87 mm	9.1 すべての i)市民サービス 下度 決算額(見込) 137,660	の人々に公平な 改革項目 スの向上に向 計画事業費	アクセスに けた民間 R5年度 予算額	重点を置いた関	塩海部の経済 13・池上 計画事業費	発展を支援を 新町南緑道及 R6年度	する。 課人	選名 線沿道における 計画事業費	る効果的な公 R7年度	く民連携の推
SDGsの記意識し 行財政改 に関 予決算 (単位:	ゴール 本第3	・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム る課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債	取組1(3 R4 予算額 172,609	9.1 すべての i)市民サービス 下度 決算額(見込) 137,660	の人々に公平な 改革項目 スの向上に向 計画事業費 292,230	アクセスに 引けた民間 R5年度 予算額 230,187	重点を置いた関	塩海部の経済 13・池上 計画事業費 693,790	発展を支援を 新町南緑道及 R6年度	する。 課人	選名 線沿道における 計画事業費 119,690	る効果的な公 R7年度	く 民連携の推
SDGsの記意識し 行財政改 に関	ゴール 本第 第 事 財源内	・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム 3課題名 年度 事業費 A 国庫支出金	取組1(3 R4 予算額 172,609	9.1 すべての i)市民サービス 下度 決算額(見込) 137,660	次 草項目 スの向上に向 計画事業費 292,230 84,510	アクセスに 可けた民間; R5年度 予算額 230,187 15,700	重点を置いた関	塩海部の経済 13・池上 計画事業費 693,790 162,900	発展を支援を 新町南緑道及 R6年度	する。 課人	現名 線沿道における 計画事業費 119,690 0	る効果的な公 R7年度	く 民連携の推
SDGsの記意識し 行財政改 に関 予決算 (単位:	ゴール叙文を選挙を表示して、「本文学」を表示して、ままして、「本文学」を表示して、ままりまります。	・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム 3課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債 その他特財 一般財源	取組1(3 R4全 予算額 172,609 0 51,000	9.1 すべての i)市民サービス 下度 決算額(見込) 137,660	次 革項目 スの向上に向 計画事業費 292,230 84,510 115,000	アクセスに (1) けた民間 (7) R5年度 予算額 230,187 15,700 81,000	重点を置いた関	福海部の経済 13・池上 計画事業費 693,790 162,900 396,000	発展を支援を 新町南緑道及 R6年度	する。 課人	現名 線沿道における 計画事業費 119,690 0 36,000	る効果的な公 R7年度	く 民連携の推
SDGsの記意識し 行財政改 に関 予決算 (単位:	ゴール叙文革連・財源内訳	・ターゲットを 祖の方向性 部期プログラム る課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債 その他特財 一般財源 人件費* B	取組1(3 R4全 予算額 172,609 0 51,000 3,795	9.1 すべての i)市民サービス 下度 決算額(見込) 137,660	次 草項目 スの向上に向 計画事業費 292,230 84,510 115,000 24,700 68,020	アクセスに 同けた民間 R5年度 予算額 230,187 15,700 81,000 22,121	重点を置いた関	編海部の経済 13・池上 計画事業費 693,790 162,900 396,000 23,690 111,200	発展を支援を 新町南緑道及 R6年度	する。 課人	国名 線沿道における 計画事業費 119,690 0 36,000 23,690 60,000	る効果的な公 R7年度	- 民連携の推 - 決算都
SDGsの記意識し 行財政改 に関 予決算 (単位:	ゴール叙文革連・財源内訳	・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム 3課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債 その他特財 一般財源	取組1(3 R4全 予算額 172,609 0 51,000 3,795 117,814	9.1 すべての。 i)市民サービン 下度 決算額(見込) 137,660	次 草項目 スの向上に向 計画事業費 292,230 84,510 115,000 24,700 68,020 0	アクセスに (アクセスに) (アウェスに) (アウ	重点を置いた原 活用の推進 決算額	編海部の経済 13・池上 計画事業費 693,790 162,900 396,000 23,690 111,200	発展を支援。 新町南緑道及 R6年度 予算額	ける。 課題 改び阜橋水江町 決算額	国名 線沿道における 計画事業費 119,690 0 36,000 23,690 60,000	る効果的な公 R7年度 予算額	☆民連携の推 法 決算者

次 人件負は、ア昇・人昇における帳貝	・ハコにり八川良い	
計画(Plan)		
	政策	臨海部を活性化する
政策体系	施策	臨海部の戦略的な産業集積と基盤整備
	直接目標	臨海部の立地企業を増やし、生産活動を活発にする
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	市民、企業	
事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	サポートエリアの塾 を図ります。	を備による臨海部の機能強化の取組みを進めることで、快適に感じる交通環境や憩い交流できる地域環境の創出
争果の内容	調整を進めます。 ・塩浜3丁目周辺は 形成に向けた取組	海部全体の活性化や持続的発展を推進するため、「浮島1期地区土地利用基本方針」に基づき、本格的土地利用
第3期実施計画に記載され ている当該年度の取組内容	②塩浜3丁目周辺 ③緑のアメニティ、 ④幹線道路におけ	を通広場整備に向けた工事着手 地区土地利用計画の進行管理・事業推進、基盤整備に向けた占用工事等に関する協議・調整 交通レスト機能の導入整備に向けたPark-PFI事業の工事着手(池上新町南緑道) ・る路上駐停車対策の取組の推進 土地利用基本方針」に基づく本格的な土地利用に向けた協議・調整

I.		果 (Do) 実施計画に記載されて 度の取組内容」に対する 達成度	3	1. 目標を大き2. 目標を上[3. ほぼ目標		4. 目標を 5. 目標を	下回った 大きく下回っ <i>t</i>	È			
疽	(上記に掲げ 等でより具 できる取組」、	内容の実績等 「た取組内容に対し、「数 体的に実績を示すことが 、 ないは「未達成部分」 はいてきた報会した記載	果、当初予定していた。 できませんでした。そ 用工事を令和5年度! ②地区内の関係事業 クジュールド調業に関 ③Park-P管理者等と協 できる交通レスト機能 できる交通レスト機能	低広場整備に向けたは、 に占用物件の敷 にのため、改めて 早期に着手できたについて庁内が ました。 ましる工事につい 議の上、路上駅 にの導入に向けが	け、駅前広場に必要と 設位置を再検討する。 、着手時期についてが るよう協議を完了させ 会議を開催して進行管 いて、事業者と関係管理 住停車の抑制対策に関 た実態調査を実施しま	込要が生じ、 協議・調整 ました。 理等を行う。 里者と協議・ する社会集	その検討にい行い、駅前広とともに、塩浜調整を行い、	寺間を要したこ 場の令和6年 26号線の占 年度内に着手	ことから、令和 :度中の完成・ 用調整会議を	4年度の工事 供用開始に向 開催して占用	着手が]け、占]エ事ス
					」に基づく本格的土地 と協議・調整を実施し		た今後の検討	付の方向性を	確認するととも	た、土地利用	に向け
_	指標分類	数値で事業の実	て取り組む事項につい	いて、関係部署	と協議・調整を実施し			付の方向性を存 R5年度	確認するととも R6年度	に、土地利用 R7年度	単位
-	指標分類	数値で事業の実	て取り組む事項につい	いて、関係部署	と協議・調整を実施し	ました。					
-	指標分類	数値で事業の実 説明	て取り組む事項につい	いて、関係部署	と協議・調整を実施し	目標・実績					
	1		て取り組む事項につい	いて、関係部署	と協議・調整を実施し	目標・実績					
	指標分類 1 2		て取り組む事項につい	いて、関係部署	と協議・調整を実施し	ました。 目標・実績 目標 実績					
	1	説明	て取り組む事項につい	いて、関係部署	と協議・調整を実施し	ました。 目標・実績 目標 実績 目標					

評価(Check)										
(国•県•他団体の	社会環境の変化 の動向や法改正、 和など)	リッジ、国道3	357号、臨	巷道路	東扇島水	江町		ど、川崎臨済	毎部を取り巻く	奇港、横浜港)の広域連携、3 環境が変化しています。土地	
事業の見直	し・改善内容	□ 実施	(直近) ト	1	年度		☑ 未実施				
※過去に見	見直し・改善内容 直した履歴も記載 場合は記載										
			評値	項目						評価	
	【市民の二一ズ】 事業を取り巻く環	環境の変化等に	こより、事業	に対す	するニーズ	が薄	れていないか?			a. 薄れていない b. 薄れている	а
	【市が実施する必 他都市で、民間		是供している	5事例:	がないか?	?				a. 事例はない b. 事例がある	a
必要性	評価の理由	備を進める必 ②③④塩浜3 性化に資する ⑤浮島1期地	要がありま 丁目周辺が 地区形成 区について	す。 也区に を図る には、国	こついては、 ものであり 国道357号	、地区 リ、行 号線の	に集積する市有 政が主体的に進る 整備事業等との	財産の有効 める必要がる 調整、首都	活用、地区の あります。 圏のほぼ中央	入に向けて、大師橋駅駅前 価値を高める基盤整備により で陸海空の結節点に位置する必要があります。	り、臨海部の活
	【成果】 活動結果(活動	指標等)に対し	事業の成り	艮(成果	果指標等)	は順調	周に上がっている	か?		a. 上がっている b, 徐々に上がっている c. 上がっていない	b
有効性	評価の理由		る民間活	用によ	る新たな機	機能導	入や基幹的道路			ナる工事着手に向けた協議、 1期地区の海面最終処分場	
	【 民間の活用 】 委託や指定管理	者制度など、	実施手法に	ついて	て民間活用	によ	りコストを削減で	きる余地がる	あるか?	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b
効率性	【事業手法等の見 事業の成果を維 よる事務改善の可	持しながら、契		上様の.	見直しなど	ごによ	る経費削減や事	務手続きの	見直しなどに	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
刈年注	【質の向上】 事業を適正な(過 部(職員・組織)の						で行いながら、市	方民サービス	や市役所内	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b
	評価の理由	関係機関等と	∶協議•調整	を図り	りながら、臣	え間 の)活用等、適切な	事業手法を	構築し効率的	な事業推進を図ります。	·
	黄	献度区分					上記「有効性	生」の成果等	を踏まえ左記	区分を選んだ理由	
施策への責献度	A. 貢献してい B. やや貢献し C. 貢献の度名	ている	🏻	さ差進②交上全ま⑤とは事に③通駐体す浮しい。ほ	ことで、令業とので、令業とのして、令業をがして、令業がは、 一次のは、第一のでは、 で、令業がは、 で、令業がは、 で、令業がは、 で、令業がは、 で、令業がは、 で、令業がは、 で、令業がは、 で、令業がは、 で、令業がは、 で、令業がは、 で、令業がは、 で、令業がは、 で、令業がは、 で、令業がは、 で、もので、令業がは、 で、もので、令業がは、 で、もので、令業がは、 で、もので、令業がは、 で、もので、令業がは、 で、もので、もので、 で、もので、もので、 は、これでは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	和6部ま目ので及の上の上の上の本	年度の完成・供用整を行い、駅前ル 辺地内は土地利用入に向け、Park-「 印制対策の効果」 臨海部の活性化 格的土地利用に	目開始に向に 広場本工事の 計画に基づ PFI制度を活 と路上駐停車 とに向けた取 向けて、今行	、事業の進捗 の令和5年度着いた関係局の用した工事に関する実態 組みが確認さ	いて、占用工事の着手時期を図ることが出来ました。また 手手について確認出来たこと 事業調整等を行いながら、 着手し、また、地域課題となる 長を社会実験を実施して確認 れてることから、施策の推進 向性を確認し、土地利用に当まってきたことから、施策の格	こ、連続立体交から、施策の指 なのアメニティ・ る大型車の路 するなど、地区 に貢献してい たっての協議・

改善善(A	ction)			
	方[向性区分		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
今後の事業 の方向性			L	これまでの取組内容を踏まえつつ、関連事業の進捗状況等の把握に努め、引き続き、関係機関との協議・ 調整、検討を進めながら、快適な交通環境や憩い交流できる地域を創出するサポートエリア整備の取組を 進めます。
	尾施計画に記載 次年度の取組			①大師橋駅駅前交通広場整備に向けた工事の推進 ②塩浜3丁目周辺地区土地利用計画の進行管理・事業推進、基盤整備に向けた取組の推進 ③緑のアメニティ、交通レスト機能の導入に向けたPark-PFI事業の完成・運営開始(池上新町南緑道) ④幹線道路における路上駐停車対策の取組の推進 ⑤「浮島1期地区土地利用基本方針」に基づく本格的な土地利用に向けた協議・調整
今後の事業 踏まえた次年	変更箇所 (上記計画上の記載に 対する変更箇所)			①大師橋駅駅前交通広場整備に向けた工事の着手及び推進【変更(令和5年度)】
の変更		変更の理由		①令和4年度に着手予定だった占用工事の工事時期を見直し、令和5年度着手に変更したため

			事務事業:	コード				事務事業名				政策体	系別計画の記
	事務	事 某	404010	40	塩海部交通	ネットワー	ーク形成推	進事業					有
			組織コー	- ド					所属名				
	担	当	59300	0 8	塩海部国際 単	战略本部拠	点整備推進	部					
			事業開始	年度 事	業終了年度	事務・	サービス等	4 分類	1(市民サ-	-ビス等)	分	頃2(内部事	務)
	実施	期間	_		_		の分類		その他			その他	
	実施	形態	☑ 市が直	接実施	☑ 一部委託	. 🗆 :	全部委託•指	定管理	□ ボラン	ノティア等との	協働	その他	
	実施	根拠	□ 国·県の)制度	☑ 国・	県の制度-	+市独自の制	消度 □	市独自の	の制度			
	(法令	ì·要綱等)											
終合計画	面と連	増する計画室	都市計画マス	スタープラン 坩		·策推准基:	本計画.産業:	振興プラン.糸	総合都市交	逐通計画.地域	公共交通計	· 画	
総合計画と連携する計画等 SDGsのゴール・ターゲットを 意識した取組の方向性				., ,,,,,		7177272		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				_	
SDGsの:	ゴール	··ターゲットを	9 産業と技能系統の 基盤をつくろう	0.1 臨海部/		向上させ、持	持続的な発展を		可上させるた	めに、交通拠点			備や交通結
SDGsの: 意識し 行財政改	ゴール た取約 (革第3	・・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム	9 産業と技能差距の 単性をつくろう	9.1 臨海部 / 機能の引	へのアクセスを	向上させ、持	持続的な発展を		引上させるた				備や交通結
SDGsの: 意識し 行財政改	ゴール た取約 (革第3	・ターゲットを 組の方向性	9 産業と対象があり、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9.1 臨海部 機能の強	へのアクセスを 強化と端末交通	向上させ、持 の充実を図	持続的な発展を			課具	点及び基幹的	交通軸の整体	備や交通結
SDGsの: 意識し 行財政改	ゴール た取約 (革第3	・・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム る課題名	9 8#28##################################	9.1 臨海部 機能の強	へのアクセスを 金化と端末交通 改革項目	向上させ、持 値の充実を図 R5年度	寺続的な発展を 1る。	で支え価値を応	R6年度	課是	気及び基幹的: 選名	交通軸の整 R7 年度	
SDGsの: 意識し 行財政改	ゴール た取約 (革第3	・・ターゲットを 組の方向性 3期プログラム る課題名 年度	9 日本公共日本 9 日本公共 9 日本公共 10 日本 10 日本 10 日本 10 日本 10 日本 10 日本 10 日本 10 日本 10 日本 10 日本 10 日本 10 日本 10 日本 10 日本 10 日本 10 日本 	9.1 臨海部ペ機能の引 機能の引 下度 決算額(見込)	へのアクセスを 金化と端末交通 改革項目 計画事業費	向上させ、技 値の充実を図 R5年度 予算額	持続的な発展を	支え価値を向ける		課具	点及び基幹的: 殖名 計画事業費	交通軸の整体	帯 や交通結 決算器
SDGsの: 意識し 行財政改	ゴール た取約 (革第3	・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム る課題名 年度	9 ************************************	9.1 臨海部 機能の強	へのアクセスを 金化と端末交通 改革項目 計画事業費 99,572	向上させ、技 の充実を図 R5年度 予算額 49,776	寺続的な発展を 1る。	・ 支え価値を応 計画事業費 126,068	R6年度	課是	点及び基幹的: 個名 計画事業費 91,423	交通軸の整 R7 年度	
SDGsの意識し 行財政改 に関	ゴールた取組を関連する。 財庫 財	・・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム 3課題名 年度 事業費 A 国庫支出金	9 14122000 R44 予算額 140,415	9.1 臨海部ペ機能の引 機能の引 下度 決算額(見込)	へのアクセスを 金化と端末交通 改革項目 計画事業費 99,572	向上させ、持 値の充実を図 R5年度 予算額 49,776	寺続的な発展を 1る。	計画事業費 126,068 0	R6年度	課是	版名 国名 計画事業費 91,423 0	交通軸の整 R7 年度	
SDGsの意識し 行財政改 に関 予決算	ゴール料では、一、本第では、一、本第では、一、は、第一では、一、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	・・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム 3課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債	R4 ⁴ 予算額 140,415 0 36,000	9.1 臨海部ペ機能の引 機能の引 下度 決算額(見込)	へのアクセスを 金化と端末交通 改革項目 計画事業費 99,572	向上させ、技 の充実を図 R5年度 予算額 49,776	寺続的な発展を 1る。	・ 支え価値を応 計画事業費 126,068	R6年度	課是	点及び基幹的: 個名 計画事業費 91,423	交通軸の整 R7 年度	
SDGsの意識し 行財政改 に関	ゴール和では、一、本第では、一、本第では、一、は、第では、一、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	・・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム 3課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債 その他特財	9 14122000 R44 予算額 140,415	9.1 臨海部ペ機能の引 機能の引 下度 決算額(見込)	へのアクセスを 金化と端末交通 改革項目 計画事業費 99,572	向上させ、持 値の充実を図 R5年度 予算額 49,776	寺続的な発展を 1る。	大 計画事業費 126,068 0 54,000	R6年度	課是	版名 国名 計画事業費 91,423 0	交通軸の整 R7 年度	
SDGsの意識し 行財政改 に関 予決算	ゴール料では、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	・・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム 3課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債 その他特財 一般財源	R4 ⁴ 予算額 140,415 0 36,000	9.1 臨海部ペ機能の引 機能の引 下度 決算額(見込)	へのアクセスを 金化と端末交通 改革項目 計画事業費 99,572 0 49,000	向上させ、持 何の充実を図 R5年度 予算額 49,776 0 5,000	寺続的な発展を 1る。	大変え価値を向ける。 計画事業費 126,068 0 54,000	R6年度	課是	類名 計画事業費 91,423 0 16,000	交通軸の整 R7 年度	
SDGsの意識し 行財政改 に関 予決算	ゴール料では、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一	・・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム 3課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債 その他特財	R4 ⁴ 予算額 140,415 0 36,000 21,500	9.1 臨海部ペ機能の引 機能の引 下度 決算額(見込)	へのアクセスを 金化と端末交通 改革項目 計画事業費 99,572 0 49,000	向上させ、将 の充実を図 R5年度 予算額 49,776 0 5,000	寺続的な発展を 1る。	大 計画事業費 126,068 0 54,000	R6年度	課是	原及び基幹的: 国名 計画事業費 91,423 0 16,000 0	交通軸の整 R7 年度	
SDGsの意識し 行財政改 に関 予決算	ゴたな革連すり源内訳	・・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム 3課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債 その他特財 一般財源	R4 ⁴ 予算額 140,415 0 36,000 21,500 82,915	9.1 臨海部 機能の引 機能の引 注度 決算額(見込) 46,376	へのアクセスを 金化と端末交通 改革項目 計画事業費 99,572 0 49,000 0 50,572	向上させ、持 何の充実を図 R5年度 予算額 49,776 0 5,000 0 44,776	寺続的な発展を する。 決算額	計画事業費 126,068 0 54,000 0 72,068	R6年度 予算額	決算額	原及び基幹的: 国名 計画事業費 91,423 0 16,000 0 75,423	交通軸の整位 R7年度 予算額	

計 画(Plan)	画(Plan)	
	政策	臨海部を活性化する
政策体系	政策体系 施 策	臨海部の戦略的な産業集積と基盤整備
	直接目標	臨海部の立地企業を増やし、生産活動を活発にする
事業の対象 (事業の対象となる人、物)		
	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	ットワーク形成に向けた取組など、交通機能強化の取組を進めることで、臨海部の交通需要増加への対応を図りま
(7727-2-11-01-7-01-11-01-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-		
(どういった業務内容で、どのような	いった業務内容で、どのような機能の強化と端	な発展を支え価値を向上させる交通機能の強化をめざし、交通拠点及び基幹的交通軸の整備とともに、交通結節 末交通の充実を図り、臨海部への円滑な移動を実現する新たな交通ネットワークの形成に向けた取組を推進しま
第3期実施計画に記載され ている当該年度の取組内容	2川崎アプロー 期実施計画に記載され る当該年度の取組内容 ⑤羽田空港周辺 ⑥多摩川スカイ	機能強化に向けた実施方針に基づく取組の推進 チ線の調査・検討結果に基づく取組の推進 企業送迎バスによる交通機能強化に向けた取組の推進 K江町) アクセス強化の取組推進 ブリッジ開通後交通量調査の実施 ブリッジ整備事業の事後評価の実施

上記		果 (Do) 実施計画に記載されて 後の取組内容」に対する 達成度	3	1. 目標を大き 2. 目標を上[3. ほぼ目標		4. 目標を 5. 目標を	下回った 大きく下回っ <i>†</i>	±			
<u>値等</u> でき	記に掲げ でより具 る取組」、	内容の実績等 た取組内容に対し、「 数 体的に実績を示すことが 又は「未達成部分」若し 成できた部分」を記載)		規模土地利用射 はでは合いでは、かせいでは、かせいでは、かせいでは、かせいでは、かせいでは、かせいでは、かせいでは、かせいでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、な	かせてある収点といいます。 関である収点を実現 性で交通拠点を実現 はないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは	した。交通拠点に を確保に向い でででいてのの ででいて、 ででいて、 ででいて、 ででいて、 ででいて、 ででいて、 ででいて、 ででいて、 ででいて、 ででいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にでいる。 にいて、 にいいでいで、 にいいでいで、 にいいで、	についてのでは、 でいる でいまり での	能 で で で で で で で で で を を を を を を を を を を を を を	検討を実施しのから の一つである。 大の利力さました。 大の人にはしたのからである。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。	よした。 浜川崎駅の様いて調整を行っため、大師橋島。 5路線の評価。 5路線の評価。 5の交通量がが 発注しました。	機能 い用 を ブ域 を ブック の そうしゅう かいしゅう かいり かいしゅう かいり かい かいしゅう かいしゅう かいしゅ かいしゅう かいしゅう かいり かい かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいしゅう かいり かい しゅう かいり かい しゅう かいり かい しゅう かい しゅう かい しゅう かい しゅう かい しゅう かいり しゅう かい しゅう かい しゅう かい しゅう かい しゅう しゅう しゅう かい しゅう かい しゅう しゅう しゅう しゅう かい しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ しゅう しゅう しゅ しゅう しん しゅう しん
指相	漂分類	数値で事業の実	績・効果等を把握	屋できる指標	(指標の説明) 目標·実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1						目標					
		説明				実績	_	1	_	_	

評価(の	Check)									
(国·県·他団体の	社会環境の変化 の動向や法改正、 和など)	線貨客併用化	比(品川·東	京テレ	ポート~浜	川崎~	て、平成28年4月に国の交通政策審議 ・桜木町)及び川崎アプローチ線(浜川崎 ジェクト」として位置付けられました。			
事業の見直	し・改善内容	□ 実施	(直近)	Н	年度	Ø	未実施			
※過去に見	見直し・改善内容 直した履歴も記載 場合は記載									
			評	価項目				評価		
	【市民の二一ズ】 事業を取り巻く母	環境の変化等に	こより、事業	美に対す	⁻ るニーズカ	「薄れ ⁻	ていないか?	a. 薄れていない b. 薄れている	а	
必要性	【市が実施する必要性】 他都市で、民間等でサービス提供している事例がないか?							a. 事例はない b. 事例がある		
	評価の理由	環境の改善	や増加が見	込まれ	る通勤需要	に対応	・の依存度が高く、ピーク時の車内混雑や むするために、基幹的交通軸や交通拠点 る必要があります。			
有効性	【成果】 活動結果(活動	指標等)に対し	事業の成:	果(成果	指標等)は	順調に	こ上がっているか?	a. 上がっている b, 徐々に上がっている c. 上がっていない	b	
有划性	評価の理由	交通ネットワ・ 入などの成界				駅方面	面へのバス路線について来年度の運行網	操続や臨海部中央軸(水江町)へ	のBRT導	
	【 民間の活用 】 委託や指定管理	者制度など、	実施手法に	こついて	民間活用	こより=	コストを削減できる余地があるか?	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b	
効率性	【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか?							a. 可能性はない b. 可能性はある	b	
刈平注		實の向上】 事業を適正な(過小でも、過大でもない)規模の人員体制・費用で行いながら、市民サービスや市役所内 『〈職員・組織〉の質の向上を図ることができる余地があるか?							b	
	評価の理由	今後の事業法	進捗に伴い	、整備戶	段階におい	ては適	①正な執行体制の構築や民間活用など、	効率的な事業進捗を図る必要が	ぶあります。	
	Ţ	献度区分					上記「有効性」の成果等を踏まえ左記	区分を選んだ理由		
施策への 貢献度	A. 貢献してい B. やや貢献し C. 貢献の度名	る ている	A	てとりる 入した	まとめたこと	や天2	用転換を見据えた将来交通ネットワーク 空橋駅方面へのバス路線を運行継続した 貢献しています。また、多摩川スカイブリ	のあり方を臨海部ビジョンの改気 こと、臨海部中央軸(水江町)に	BRTを導	

改善(A	ction)			
	方「	向性区分		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
今後の事業 の方向性			I	臨海部ビジョンの「交通機能強化プロジェクト」や臨海部の土地利用転換の動向等を踏まえ、臨海部の交通 ネットワークの形成に向けた取組を進めます。 「臨海部の交通機能強化に向けた実施方針」に基づき、基幹的交通軸については、路線バスの機能強化と してBRTの拡充に向けた取組等を進めます。また、バス路線の再編成や利用促進、企業送迎バスの利活 用、臨海部の新たな移動手段の導入、多摩川スカイブリッジを活用した交通アクセスの強化等、臨海部の 交通機能の強化に資する取組を進めます。
	ミ施計画に記載 次年度の取組		5	①臨海部の交通機能強化に向けた実施方針に基づく取組の推進 ②川崎アプローチ線の調査・検討結果に基づく取組の推進 ③路線バス及び企業送迎バスによる交通機能強化に向けた取組の推進 ④BRTの拡充に向けた取組の推進 ⑤羽田空港周辺へのアクセス強化の取組推進 ⑥多摩川スカイブリッジ整備事業の事後評価結果に基づく取組の推進
今後の事業 踏まえた次年!		変更簡 (上記計画上 対する変質	の記載に	
の変更		変更の理由		

			事務事業:	コード	事務事業コード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									
	事務	事業	404010	60	塩海部活性化推進事業								有	
			組織コー											
	担	当	591500	0	臨海部国際戦略本部事業推進部									
			事業開始年度		事業終了年度 事務・サービス						分類2(内部事務)			
	実施:	期間	_		_		から類		参加•協働	の場		_		
	実施	形態	☑ 市が直持	接実施	☑ 一部委託	E 🗆 :	全部委託•指	定管理	□ ボラン	ティア等との)協働 □	その他		
	実施	根拠	□ 国・県の	制度	□ 国・	県の制度-	+市独自の制	制度 ☑	市独自の	D制度				
	(法令	·-要綱等)												
# 수 라 교	可し油 4	男する計画等	国際施策推進ブラン,都市計画マスターブラン,上下水道ビジョン・上下水道事業中期計画,地球温暖化対策推進基本計画,緑の基ス 計画,産業振興ブラン,デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進プラン,総合都市交通計画,地域公共交通計画											
	当て)建1	秀9 句計画寺	計画,産業振り	<u> 関プラン,デジ:</u>	タル・トランス	、フォーメー	·ション (DX)	推進プランが	総合都市交	通計画,地域	公共交通計	画		
SDGsの	ゴール	・ターゲットを 組の方向性	8 manue manue	・多様化 8.2 ・生産活 ・イノベー	、技術向上及動、適切な雇用 ・ションの促進	びイノベーシ	・ション(DX) ! ・ョンを通じた高 支援する開発፤ ヌーにおける科	いレベルの終 重視型の政策	 経済生産性を を促進	達成		· 画		
SDGsの記 意識し 行財政改	ゴール た取約 (革第3	・・ターゲットを	8 made	・多様化 8.2 ・生産活 ・イノベー	、技術向上及 動、適切な雇用	びイノベーシ	コンを通じた高 支援する開発	いレベルの終 重視型の政策	 経済生産性を を促進	達成	公共交通計 匯名	·······································		
SDGsの記 意識し 行財政改	ゴール た取約 (革第3	・・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム る課題名	8 made	・多様化 8.2 ・生産活 ・イノベー	、技術向上及動、適切な雇用 ・ションの促進	びイノベーシ	コンを通じた高 支援する開発	いレベルの終 重視型の政策	 経済生産性を を促進	達成		·····································		
SDGsの記 意識し 行財政改	ゴール た取約 (革第3	・・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム	8 BASTUE	・多様化 8.2 ・生産活 ・イノベー	、技術向上及 動、適切な雇 一ションの促進 改革項目	びイノベーシ 用創出等を3 と産業セクタ	コンを通じた高 支援する開発	いレベルの終 重視型の政策	経済生産性を を促進 進及び技術能	達成				
SDGsの記 意識し 行財政改	ゴール た取約 (革第3	・・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム る課題名	8 BASTUE	・多様化 ・生産活 ・イノベー	、技術向上及: 動、適切な雇用・ションの促進 改革項目	びイノベーシ 用創出等をす と産業セクタ	マヨンを通じた高 支援する開発重 マーにおける科	部ルレベルの終重視型の政策 学研究の促進	経済生産性を を促進 進及び技術能 R6年度	達成 対の向上 課	題名	R7年度		
SDGsの記 意識し 行財政改	ゴールた取線で 第第3	・・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム 3課題名 年度	8 hadre 和ARR R4年 予算額	・多様化 ・生産活 ・イノベー 下度 決算額(見込)	、技術向上及: 動、適切な雇用・ションの促進 改革項目	びイノベーシ 用創出等を3 と産業セクタ R5年度 予算額	マヨンを通じた高 支援する開発重 マーにおける科	高いレベルの終 重視型の政策 学研究の促動 計画事業費	経済生産性を を促進 進及び技術能 R6年度	達成 対の向上 課	国 名 計画事業費	R7年度		
SDGsの記意識し を講し 行財政改 に関 予決算 (単位:	ゴールた取業 第3	・・ターゲットを祖の方向性 ヨ朔プログラム る課題名 年度	8 ************************************	・多様化 ・生産活 ・イノベー 下度 決算額(見込)	、技術向上及動、適切な雇用・ションの促進 改革項目 計画事業費 38,465	びイノベーシ 用創出等を3 と産業セクタ R5年度 予算額 42,868	マヨンを通じた高 支援する開発重 マーにおける科	高いレベルの斜 重視型の政策 学研究の促近 計画事業費 36,865	経済生産性を を促進 進及び技術能 R6年度	達成 対の向上 課	班名 計画事業費 116,865	R7年度		
SDGsのコ 意識し 行財政改 に関	ゴール 第3 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 8 第 8	・・ターゲットを 祖の方向性 3期プログラム る課題名 年度 事業費 A 国庫支出金	R4年 予算額 26.278	・多様化 ・生産活 ・イノベー 下度 決算額(見込)	、技術向上及動、適切な雇用・ションの促進 改革項目 計画事業費 38,465	ボイノベーシ 用創出等をす と産業セクタ R5年度 予算額 42,868	マヨンを通じた高 支援する開発重 マーにおける科	高いレベルの糸 重視型の政策 学研究の促送 計画事業費 36,865	経済生産性を を促進 進及び技術能 R6年度	達成 対の向上 課	別名 計画事業費 116,865 0	R7年度		
SDGsの記意識し を講し 行財政改 に関 予決算 (単位:	ゴール総第一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・ターゲットを 祖の方向性 部期プログラム る課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債 その他特財 一般財源	R4至 予算額 26.278 0	・多様化 ・生産活 ・イノベー 下度 決算額(見込)	、技術向上及動、適切な雇用・ションの促進 改革項目 計画事業費 38,465 0	TAJ/ベーシ 用創出等をす と産業セクタ R5年度 予算額 42,868 0 0	マヨンを通じた高 支援する開発重 マーにおける科	高いレベルの糸 重視型の政策 学研究の促送 計画事業費 36,865 0	経済生産性を を促進 進及び技術能 R6年度	達成 対の向上 課	計画李業費 116,865 0	R7年度		
SDGsの記意識し を講し 行財政改 に関 予決算 (単位:	ゴール総第一・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・ターゲットを 祖の方向性 部期プログラム る課題名 年度 事業費 A 国庫支出金 市債 その他特財	R4至 予算額 26.278 0 0 3,702	・多様化 ・生産活 ・イノベー 下度 決算額(見込)	、技術向上及 動、適切な雇 ーションの促進 改革項目 計画事業費 38,465 0 0 3,702	びイノベーシ 用創出等を3 と産業セクタ R5年度 予算額 42,868 0 0	マヨンを通じた高 支援する開発重 マーにおける科	高いレベルの終 直視型の政策 学研究の促進 計画事業費 36,865 0 0 3,702 33,163	経済生産性を を促進 進及び技術能 R6年度	達成 対の向上 課	財圖事業費 116,865 0 0 3,702 113,163	R7年度	決算机	

計画(Plan)		
	政策	臨海部を活性化する
政策体系	施策	臨海部の戦略的な産業集積と基盤整備
	直接目標	臨海部の立地企業を増やし、生産活動を活発にする
事業の対象 (事業の対象となる人、物)	企業、市民	
事業の目的 (対象をどのような状態にしたいか)	「臨海部ビジョン」 て、市民の理解度	に基づく取組を進めることで、企業活動の活性化や産学公民連携の促進を図るとともに、臨海部の活動等につし 向上を図ります。
		塩海部ビジョン」の推進や産学公民のネットワーク強化に向けた推進協議会の開催、企業との協働による各種プの認知度・理解度の向上に向けたPR・ブランディング戦略の取組を進めます。
第3期実施計画に記載され ている当該年度の取組内容	②投資保健・企業を受ける。 ②投資保健・企業を受ける。 ②は、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、ので	こ示す「目指す将来像」の実現に向けたリーディングプロジェクトの中間評価の実施及びプロジェクトの検証 緑地制度の運用(相談数:10件以上) 立地誘導制度)の内容検討 他の動向把握(地区カルテ・アクションマップの作成) 等を活用した企業との協働によるプロジェクトの検討・推進 管理を行う協議会の開催等を通じたビジョンの共有及び推進(協議会開催回数:2回) リエゾンセンターと連携した産官学民等の連携の促進 人材育成プログラムの実施 D認知度向上に向けたこれからの臨海部のイメージを確立するための取組の検討 がディアへのプロモーションの実施の推進 り見学会の実施(見学会回数:5回) の連携によるモデル事業の試行実施・検証 レたインターンシップの試行実施・検証 ロントにおけるキャリア形成を支援する取組の創出に向けた検討・調整 動や取組を広く知ってもらうためのニュースレターの発行及び見える化に向けた取組の推進

宝佐	红土	甲 _/	Do)									
		実施計画	画に記載されて 内容」に対する			大きく上回って達成 上回って達成 漂どおり	4. 目標を 5. 目標を	下回った 大きく下回った	Ė			
(上記に 値等でよ できる取	こ掲げた より具な 欠組 」、	た取組[本的に] 又は「 オ	実績等 内容に対し、「数 総様を示すことが 法達成部分」若し 部分」を記載)	改定に向けた検証を ②投資係局ルトナート ②投資係局ルルテ・アウト た。 ⑥川・金・海・大・大・クロート・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	おおいます。最近の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学を受けた。 一般	ーディングプロジェクトのる相談(計17件)に対しる新たな研究開発拠点を当たな研究開発地点を当ちり、リエリン研究に対して、臨海部ので流会やニ連動動をはいて、上で、川崎臨海部と「はたらにが、大きな、一次ので、大きな、一次ので、大きな、一次ので、大きな、一次ので、大きな、一次ので、大きな、一次ので、大きな、一次ので、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	適切に対応が の形成を促 ジョンに基づ かに関臨海はしい 川崎族映しすの とカイルいに とスタイルのに という 理選択に がは、 の形成を にな連絡に でワークシャン のが、 のでで、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが、 のが	しました。 性する立 地誘 ヨップ等を 2回 くリーディンク 発見、物技術 あ取 おおける。学会 だった。見きはアールで はいている。 かったいでする。 はったいでする。 はったいでする。 はったいできる。	導制度を策定 即開催し、立地 プロジェクトの にどを、計講達 等を検討を進しま 計実施行いました。 や研究者と交	しました。 企業等と課題 D取組の進捗・ 開催しました。 H12回実施しまました。 にた。(7校2ほ 企業11社と過 。次段階とし 流する科学研	が認識を共有し 状況等につい をした。 団体) 連携のもと市っ で同校2年生 「修を試行実施	しまし ない 立川 崎象 他しまし
指標分		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		績・効果等を把	屋できる指標	= (比価の影明)						
. 活	5動│	川崎臨海部活性化推進協議会の開催回数					目標·実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
							目標	R4年度 2	R5年度 2	R6年度	R7年度	
	旨標	説明	臨海部の現状把握を	はじめ、持続的に発展して	いくための課題やそ	・ (1日 休 (フ に い り) () () () () () () () () ()	目標					単位
任	;	100.01	臨海部の現状把握を 及び実践、情報発信 数 進制度・緑地	Eはじめ、持続的に発展して を産学公民の連携により推 制度に関する相談	いくための課題やそ注進する「川崎臨海部	の解決に向けての取組の検診 3活性化推進協議会」の開催回	目標 実績 目標	2				
		投資仮	臨海部の現状把握を 及び実践、情報発信 数 進制度・緑地 川崎臨海部に長年3 崎臨海部産業競争力	Eはじめ、持続的に発展して を産学公民の連携により推 制度に関する相影 な地する企業の、高度化・高	いくための課題やそ 注進する「川崎臨海部 と件数 機能化を目的とした	の解決に向けての取組の検討	目標 実績	2	2 —	2 –	2	
2 指	舌動 旨標	投資仮 説明	臨海部の現状把握を 及び実践、情報発信数 建制度・緑地 川崎臨海部に長年ご 崎臨海部産業競争力 敷地外緑地等の整修	Eはじめ、持続的に発展して を産学公民の連携により推 制度に関する相間 立地する企業の、高度化・高 19強化促進補助金」の利用・	いくための課題やそ 達進する「川崎臨海部 後件数 機能化を目的とした や、「臨海部における	の解決に向けての取組の検診 3活性化推進協議会」の開催回 設備投資に対して交付する「J よ共通縁地ガイドライン」に基づ	実績目標	2 2 10	2 —	2 –	2 —	
² 指 。活	舌動 旨標	投資仮 説明	臨海都の現状把握を 及び実践、情報発信 数 進制度・緑地 川崎臨海部に長年1 崎臨海部産業競争数 の学校等によ 子どもたちの学習機	はじめ、持続的に発展して を産学公民の連携により推制度に関する相割 地する企業の、高度化・高 う強化促進補助金」の利用・ 間に関する相談の件数 ・ る臨海部企業等(いくための課題やそ 進する「川崎臨海部 後件数 機能化を目的とした や、「臨海部における の見学会の関 引する認知度向上、3	の解決に向けての取組の検診 3活性化推進協議会」の開催回 設備投資に対して交付する「J よ共通縁地ガイドライン」に基づ	目標 実績 目標 目標	2 2 10 17	2 — 10 —	2 — 10 —	2 — 10 —	- 件
3 活指	舌動標 舌動標 舌動標	投資 仮 説明 市内外 説明	臨海部の現状把握を 及び実践、情報発信 数 上進制度・緑地 川崎臨海部に長年立 崎臨海部産業競争力 敷地外緑地等の整修 ・の学校等によ 子どもたちの学習機 対象に実施する臨海	はじめ、持続的に発展して を産学公民の連携により推 制度に関する相影 は地する企業の、高度化・高 対強化促進補助金川の利用・ 制に関する相談の件数 こる臨海部企業等(会の創出と川崎臨海部に関	いくための課題やそ 進する「川崎臨海部 後件数 機能化を目的とした や、「臨海部における の見学会の関 引する認知度向上、引 回数	の解決に向けての取組の検診 が活性化推進協議会」の開催回 ・設備投資に対して交付する「リ ・共通線地ガイドライン」に基づ ・関権回数 ・ 理解増進を目的として学校等を	目標 実績 目標	2 2 10 17 5	2 — 10 —	2 — 10 —	2 — 10 —	件

評価(の	check)							
(国・県・他団体の	社会環境の変化 D動向や法改正、 和など)		の設備の:	老朽化が進	行して	編による企業合併が進み、臨海部の仏 います。さらに、政府が2050年にカーオ :うとしています。		
具体的なり ※過去に見	し・改善内容 見直し・改善内容 直した履歴も記載 場合は記載	□ 実施 (直近)	н	年度	☑ ;	未実施		
			評価項目				評価	
	【市民の二一ズ】 事業を取り巻く環	環境の変化等により、	事業に対す	ナるニーズが	薄れて	いないか?	a. 薄れていない b. 薄れている	а
必要性	【市が実施する必 他都市で、民間	要性】 等でサービス提供して	a. 事例はない b. 事例がある	а				
	評価の理由		が大きく変	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
有効性	【成果】 活動結果(活動	・ 指標等)に対し事業の	a. 上がっている b, 徐々に上がっている c. 上がっていない	b				
HWIT	評価の理由	投資促進制度・緑地の実施回数といった				と業等の枠組みを超えた従業者の交流 きています。		る講座等
	【 民間の活用 】 委託や指定管理	者制度など、実施手	a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	а				
効率性	【事業手法等の見直し】 事業の成果を維持しながら、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか?						a. 可能性はない b. 可能性はある	а
刈牛注		過小でも、過大でもない 質の向上を図ることが		a. 余地はない b. 余地はある c. 既に実施済み	b			
	評価の理由					産学官の連携組織等を活用しながら、 の取組、協働による取組がそれぞれさ		
	黄	献度区分				上記「有効性」の成果等を踏まえ左記	!区分を選んだ理由	
施策への 貢献度	A. 貢献してい B. やや貢献し C. 貢献の度名	้ อ	臨海部築など	『投資促進制 :川崎臨海部	く環境 制度」及 3の産業	は大きく変化してきていますが、製造業び「緑地制度」の立地企業への周知や 、競争力の強化に向けて総合的に取組 る相談件数」等が目標を達成できるな	集の操業環境の向上などを目的と 技能人材の育成・技術継承の仕 目を推進することで、成果指標であ	:組みの構 5る「投資促

改善(A	ction)							
	方向	句性区分 _		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性				
今後の事業 の方向性	一 市 東		I	「臨海部ビジョン」に位置付けたリーディングプロジェクトについては、引き続き、効果的な事業内容となるよう、事業評価を行いながら取り組んでいきます。「川崎臨海部投資促進制度」等は、制度利用促進に向けて、企業への周知などをより一層進めます。産学公民のネットワークを活用し、企業等と連携しながら地域の課題解決に向けた取組を実施します。また、ニュースレターの発行、企業等の見学会の実施のほか、教育機関と立地企業との連携による高校生を対象とした新たな取組を実施するなど、川崎臨海部のエリア全体の価値向上に向けた戦略的なブランディングに取り組んでいきます。				
	⊌施計画に記載 次年度の取組Ⅰ			① 臨海部ビジョンの実現に向けたリーディングプロジェクトの取組の推進 ② 投資促進制度・緑地制度の運用(相談数:10件以上) ③ 投資促進制度(立地誘導制度)に係る検討結果に基づく取組の推進 ④ 臨海部立地企業の動向把握(地区カルテ・アクションマップの作成) ⑤ リエゾン研究会等を活用した企業との協働によるプロジェクトの検討・推進 ⑥ ビジョンの進行管理を行う協議会の開催等を通じたビジョンの共有及び推進 ⑦ 産業・環境創造リエゾンセンターと連携した産官学民等の連携の促進 ⑧ 臨海部における人材育成プログラムの実施 ⑨ 企業やメディアの認知度向上に向けたPRの実施 ⑩ 次世代を担う子どもたちに向けた学習機会の創出 ⑪ 臨海部の企業活動や取組を広く知ってもらうためのPRの実施				
今後の事業 踏まえた次年		変更簡 (上記計画上 対する変更	の記載に	③投資促進制度(立地誘導制度)の運用【変更(令和5年度)】				
	踏まえた次年度の取組内容 の変更箇所 変更の理由			令和4年度末に制度化し運用を開始したため、より具体的な記述に変更したもの。				

事務事業評価シートの見方

「事務事業評価シート」は、事務事業評価のツールとして、572の事務事業ごとに、事業の実施結果の達成度を把握するとともに、施策全体の推進に寄与しているか等を確認し、効率的・効果的なPDCAサイクルの実現につなげるため、事務事業所管課が作成し、取りまとめたものです。

事務事業評価シートの見方は次のとおりです。

令和4年度 事務事業評価シート



旧惊刀鬼	数值	で事業の実	債・効果等を把握できる指標	(指標の説明)	目標·実績	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位	
			ートナー」登録・認証事業者数		目標	2.437	3.139	3,630	3,973	_	8上記⑥に記載し
i 成果 指標	説明	「かわさきSDGsパー	トナー」に登録・認証された事業者等の果計件数		実績	3,145			_ /	者	取組に係る指標を
	SDG	につかがるを	動に取り組んでいる人の割合		0000	5,145			50		定し、活動実績や」 組によって得られた
2 成果 指標		市民アンケートにお	CSDOsiにつながる行動に取り組んでいると回答した人の割合 96								
1817	10071	※アンツーFism 中	5) 500000	TODA D ROSSEC	実績	-	# 87	_	·		7×7×210-4
成果	SDG	sを知っている		『有効	# 11/15	IB '#	80	-	90	- %	
指標	説明	市民アンケートにお ※アンケートは隔年	いてSDOsを知っていると回答した人の割合 に実施	" 19 ※))]	1 2[刘建		_	_	20	
_		,			目標						
4	説明				実績						
T. /T	10										
平価		heck)	中国内心体 计结节能表示表 老八块	『必要	牛 ル	関連 一	DO 01111A	+15-11% +		A 44 E	③事業を取り巻く
国·県·他	団体の	会環境の変化 動向や法改正、	内閣府では、持続可能なまちづくりや 適化、地域課題解決の加速化という		<u> </u>		いいはい埋営 とした地方倉	を取り込むこ 生(地方創生	こで、収まり SDGs を推	主体戦 進してい	会環境の変化を記
	制緩和		ます。	burn edenombrouges							
		- 改善内容	☑ 実施 (直近) R 4 年度	□ 未実施		*******					⑪直近5年程度の
		直し・改善内容した履歴も記載	R4年度: SDGs大賞の開催、SDGs道	『効率	生 ルル	男浦 の	は行実施、か	わさきSDGs7	ピータルサイ	トの開	業見直し・改善内
		合は記載	設	- 201 + 1		A) LE			-		を記載
			評価項目					評	価		
		市民のニーズ] 環境の変化等により、事業に対するニ-	- ブが薄ゎていたい	.t. 2			尊れていない 尊れている		а	
	,	市が実施する		X 10-74-10 CO80	. ·	***************************************	-	事例はない			
必要性			め安任』 等でサービス提供している事例がない	ነ ታን?				事例がある		а	
	Ī		川崎市内で事業活動をしている企業								
		評価の理由	向けた取組の支援を行うことの重要性 推進を図ることが求められています。	Eは増しており、巾か	王体となっ	て収組の支払	を実施する	ことにより巾ェ	東におけるS	DGs(I)	①上記890のグ
		[成果]						上がっている 徐々に上がっ	-1.7	_	を踏まえ、必要性、
		从本』					D,	味々に上かっ 上がっていな(b	効性、効率性に係
有効性	v-	The state of the s	指標等)に対し事業の成果(成果指標	等)は順調に上がっ	ているか?		с	上かっている			一評価は里を記載
有効性	v-	The state of the s	指標等)に対し事業の成果(成果指標 各種セミナーやSDGs大賞の開催、補 等のSDGs達成に向けた取組の支援	助金制度の試行実	施、ポータ	レサイトの運営		0240 N 0300 AM		トナー	評価結果を記載
有効性	±	活動結果(活動 評価の理由	各種セミナーやSDGs大賞の開催、補	助金制度の試行実	施、ポータ	レサイトの運営	などの実施 a. :	により、かわ			評価結果を記載
有効性	±	活動結果(活動 評価の理由 (民間の活用)	各種セミナーやSDGs大賞の開催、補	助金制度の試行実 こつなげることがで	施、ポータル きています。	レサイトの運営	などの実施 a. : b. :	により、かわ	èきSDGs/९-	-+ <i>ታ</i>	評価結果を記載
有効性	±	活動結果(活動 評価の理由 民間の活用) 委託や指定管理 事業手法等の	各種セミナーやSDGs大賞の開催、補 等のSDGs達成に向けた取組の支援 と者制度など、実施手法について民間に 見直し】	助金制度の試行実 こつなげることがで	施、ポータル きています。 小滅できる分	レサイトの運営 ・ <地があるか?	a. 5 b. 5 c. 1	により、かわ 余地はない 余地はある	èëSDGs√-	C	評価結果を記載
有効t	± _	活動結果(活動 評価の理由 民間の活用】 委託や指定管理 事業手法等の 事業の成果を約	各種セミナーやSDGs大賞の開催、補等のSDGs達成に向けた取組の支援 者制度など、実施手法について民間	助金制度の試行実 こつなげることがで	施、ポータル きています。 小滅できる分	レサイトの運営 ・ <地があるか?	a. 5 b. 5 c. 1	により、かわ 余地はない 余地はある 既に実施済み	èëSDGs√-		評価結果を記載
有効性	生 _ I	活動結果(活動 評価の理由 民間の活用】 委託や指定管理 事業手法等の成果を終 こよる事務改善 質の向上】	各種セミナーやSDGs大賞の開催、補等のSDGs達成に向けた取組の支援 連者制度など、実施手法について民間 見直し】 持しながら、契約方法、仕様の見直し 可能性があるか?	助金制度の試行実 こつなげることがで 舌用によりコストを育 などによる経費削温	施、ポータルきています。	レサイトの運営 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	a. 5 b. 5 c. 1 はど a. 1 b. 1	により、かわっ 余地はない 余地はある 既に実施済み 可能性はない 可能性はある 余地はない	èëSDGs√-	c b	評価結果を記載
	生 【 【 【 【	活動結果(活動 評価の理由 民間の活用) 委託や指定管理 事業の成果改善 の高級、 である である。 に関する である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である	各種セミナーやSDGs大賞の開催、補等のSDGs達成に向けた取組の支援 連者制度など、実施手法について民間に 見直し 持しながら、契約方法、仕様の見直し	助金制度の試行実 こつなげることがで 活用によりコストを育 などによる経費削漏 ながによる経費削漏	施、ポータルきています。	レサイトの運営 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	a. 5 b. 5 c.] など a. ī b. ī	により、かわ 余地はない 余地はある 既に実施済み 可能性はない 可能性はある	÷ŧSDGs/\-	C	評価結果を記載
	生 【 【 【 【	活動結果(活動 評価の理由 民間の活用) 委託や指定管理 事業の成果改善 の高級、 である である。 に関する である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である	各種セミナーやSDGs大賞の開催、補等のSDGs達成に向けた取組の支援 とお制度など、実施手法について民間が 見直し 持しながら、契約方法、仕様の見直し 可能性があるか? 過小でも、過大でもない)規模の人員体	助金制度の試行実 こつなげることがで 舌用によりコストを育 などによる経費削漏 ながによる経費削漏 があるか?	施、ポータルきています。	レサイトの運営 た地があるか? 焼きの見直した	a. 5 b. 5 c.] など a. 1 b. 1 b. 5 c.]	により、かわっ 会地はない 会地はある 既に実施済み 可能性はない 可能性はない 会地はなる 会地はないる 衆地はある 会地はある 会地はある	èëSDGs/∜-	c b c	評価結果を記載

⑬実施結果(Do)や 改善(Action) 評価(Check)を踏ま 実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 方向性区分 えた今後の方向性を I. 現状のまま継続 Ⅱ. 改善しながら継続 記載 今後も、市内の多様なステークホルダーのSDGsの達成に向けた取組を支援するため、川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」や「川崎市SDGsプラットフォーム」の効果的な運用を図りつ 今後の事業 Ⅲ. 事業規模拡大 Ⅳ. 事業規模縮小 I の方向性 つ、さらなる支援の拡充について検討していきます。 V. 事業廃止 VI. 事業終了 ⑭第3期実施計画に ①川崎市SDGs登録・認証制度の申請様式の改善など手続の利便性向上に向けた検討と取組の推進 記載している次年度 ②情報提供やセミナー開催などによるSDGsに取り組む事業者の支援 ③事業者のネットワーク化の支援に向けた取組事例の共有やマッチング支援などの実施 第3期実施計画に記載されている の取組内容・目標を 次年度の取組内容 記載し、上記⑪を踏 ④ポータルサイトや分科会の立ち上げなど事業者間連携の促進 まえ、次年度の取組 変更箇所 に変更がある場合は、 (上記計画上の記載 変更箇所と変更理由 今後の事業の方向性を に対する変更箇所) 踏まえた次年度の取組内 を記載 容の変更箇所 変更の理由

貢献度区分

A

A. 貢献している

B. やや貢献している

C. 貢献の度合いが薄い

施策への

貢献度

上記「有効性」の成果等を踏まえ左記区分を選んだ理由

川崎市SDGs登録・認証制度「かわさきSDGsパートナー」と「川崎市SDGsプラットフォーム」の効果的な 運用により、市内の多様なステークホルダーに対し、SDGsの達成に向けた取組の支援を行ったことにより、市域におけるSDGsの推進が図られたことから、施策への貢献がありました。

⑫事業の評価結果等

を踏まえ、上位の施

策への貢献度を記載